

総務省

平成 26 年度 一般職採用パンフレット
「先輩職員からのメッセージ」

描こう、日本の未来。



Ministry of Internal Affairs
and Communications

CONTENTS

総務省入省後のキャリアステップの一例	3
--------------------	---

地方自治行政

これからの地方自治と向き合う仕事	自治行政局行政課	北野 貴之	5
まちの元気で日本を幸せにする！	自治行政局地域政策課復興地域政策係長 併任 地域の元気創造推進室	瀬戸 隆之	6
気づいたら15年目突入。。。	自治財政局地方債課企画係長	澤田 洋一	7
時に支え、時に支えられながら。	自治税務局市町村税課諸税係長 併任 大都市税制係長	渡邊 雄太	8
“現場を支える”責任と喜び	消防庁総務課	川端 元子	9
先輩の一日 地方の現地視察 ～国会議員との1日～	自治行政局地域自立応援課過疎対策室	仁木 孝明	10

放送・情報通信・郵政行政

多彩な出会いが待ってます	情報通信国際戦略局国際政策課	田中 一樹	11
総務省ってどんなところ！？	情報流通行政局情報流通振興課 情報流通高度化推進室企画係長	岩崎 未希子	12
総務省には多彩な仕事があります！	情報流通行政局放送技術課	塚田 里美	13
迷惑メールを撲滅せよ	総合通信基盤局電気通信事業部 消費者行政課	服部 裕史	14
QOL(クオリティ・オブ・ライフ)実践	総合通信基盤局電波部移動通信課主任	岡本 千世	15
先輩の一日 インドでの国際会議の一日	情報流通行政局郵政行政部郵便課国際企画室	小山内 勇太	16

行政制度の管理運営

霞ヶ関からワーク・ライフ・バランスの実現を！	人事・恩給局勤務形態専門職	鈴木 勇作	17
「行政手続」の世界はいかが？	行政管理局主査（行政通則法担当）	谷淵 見介	18
「行政評価って、おもしろい！」	行政評価局総務課機動調査推進室長	萬谷 優人	19
正確な統計を提供するために	統計局総務課審査係長	須藤 英明	20
「統計業務」を通じてつながるもの	統計局統計調査部経済統計課 研究分析係長	藤田 真弓	21
先輩の一日 いい国つくろう 行政評価	行政評価局評価監視官付	柳場 薫	22

若手職員一問一答

先輩からのメッセージ（地方支分部局）

一歩先に行く行政を目指して！	四国行政評価支局長	安原 英樹	25
相談者の目線に立って行政を考える	富山行政評価事務所評価監視調査官 併任 富山行政評価事務所行政相談課行政相談官	磯谷 知子	26
総合通信局での業務	近畿総合通信局放送部放送課	角地 直哉	27
目立たないですが身近な存在	中国総合通信局電波監理部調査課	齋藤 誠	28

中堅職員インタビュー

29

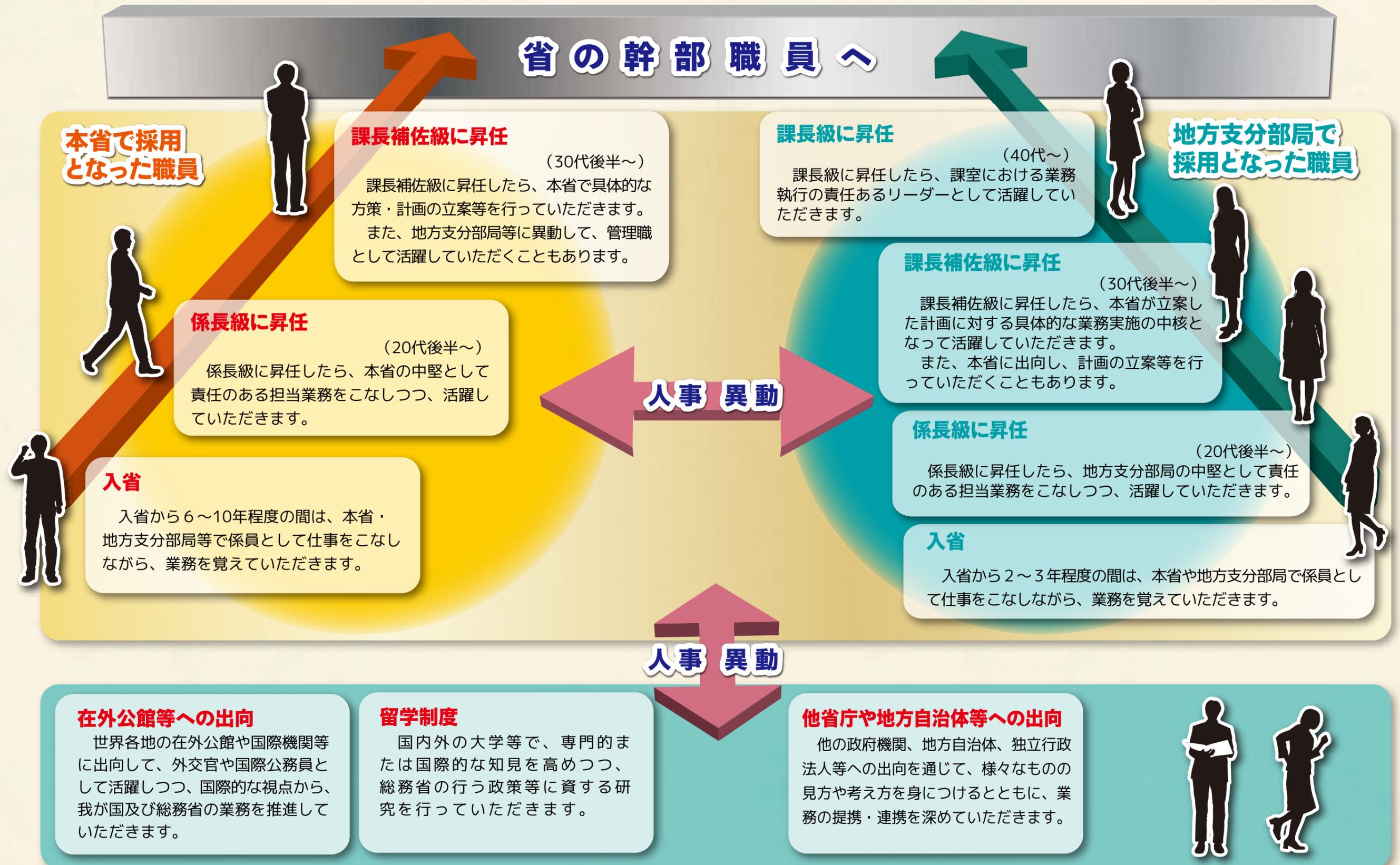
先輩からのメッセージ（地方自治体・海外・出向・留学）

「数字の海」を泳ぐ	京都府政策企画部調査統計課主事	林 栄一	31
充実感を味わおう！	復興庁参事官付主査（大臣政務官室担当）	河野 康紀	32
これからの日本と自分を創る仕事	夕張市まちづくり企画室長	工藤 学	33
被災地の現場から	いわき市財政部参事	有村 誠一郎	34
貴重な出会い・経験とともに	岐阜県総合企画部市町村課	雨宮 直美	35
Challengeの中にChangeあり	鹿児島県総務部市町村課	竹村 智之	36
総務省職員はアフリカでも勤務しています	外務省在ボツワナ日本国大使館三等書記官	櫻井 真一	37
日本からメキシコそして世界へ	日墨交換留学生（メキシコ国立自治大学）	今泉 理良香	38

Q&A	39
総務省の組織	41
連絡先	42
アクセス	裏表紙

総務省入省後の キャリアステップの一例

これはあくまで目安です。本人の勤務成績や希望等により変わります



01 自治行政局

行政課
北野 貴之

これからの地方自治と向き合う仕事

自治行政局

自治財政局

自治税務局

消防庁



PROFILE Takayuki Kitano

平成21年4月 総務省採用
 消防・救急課
 平成22年4月 自治財政局調整課
 平成23年4月 和歌山県総務部総務管理局市町村課
 平成25年4月 現職

■ 仕事の内容

人口減少社会にどう取り組むか

自治行政局行政課では地方行政の運営に関する基幹的な事項を定めている地方自治法を所管しています。地方自治の根幹に係る法律であるため、法令解釈などを通じて現実に地方行政の現場で起こる様々な問題に関与しています。また、今後の地方行政のあり方を検討し、法改正を含め対応をすることも大切な業務の一つです。

特に、今後、到来する急激な人口減少社会に対してどのように地方行政が対応していくのかを検討することが大きな課題です。平成60年には人口が1億人を切るという推計もあり、社会のあり方も大きく変容しようとしています。行政課では、この確実に到来する人口減少社会に対して地方行政がどのようにあるべきかを議論しています。地方自治体ごとにすべてが揃っているフルセットの行政からは転換すべきでないか、大都市の役割は今後どうあるべきか、など一つ一つの課題が難問であるため、解決に向けて課が一つとなり取り組んでいます。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

地方の立場に立つということ

総務省では、若手職員に地方自治体への出向させ、地方公務員としての経験をさせる機会があります。私も2年間和歌山県でお世話になりました。見知らぬ土地に体一つで飛び込むことは、非常に不安ではありましたが、諸先輩方に支えられ、今では第2の故郷のように感じています。

また、総務省には都道府県などから出向されている方が多くいます。出向者それぞれの地方自治に対する熱い思いや出向元の現状などを聞くことは、とても良い刺激になります。

これらの環境や経験が総務省職員として最も必要である、「地方の立場に立つて考える」姿勢につながっていくのだと思います。他の府省には無い総務省の誇れる点です。

この冊子を手にも、進路を悩まれている方。熱意がある方はご自身の専攻などは気にせず、是非飛び込んでみてください。スケールの大きい仕事に対し、熱い思いをもった職員と一丸となり取り組み、解決していく達成感を是非味わってください。

■ PRIVATE TIME

週末は家族で過ごす時間に充てています。私にはまだ小さな子ども（写真撮影時1歳）がいるのですが、平日の帰宅時には既に寝てしまっていることが多いため、きちんと会えるのは週末ぐらいのものです。せめて週末だけでも、と近くの公園やちょっとした旅行などに積極的に繰り出し、父親として忘れられないように頑張っています。



とある一週間

- MONDAY 通常国会への法案提出用の資料調製。間違いは許されません。
- TUESDAY 国会からの資料要求。各担当者と協力してとりまとめます。
- WEDNESDAY 国会での大臣への質問に対する資料作成。課内一丸となり取り組みます。
- THURSDAY 都道府県からの地方自治法に関する質問について内容を確認し回答します。
- FRIDAY 花の金曜日。早めに仕事を切り上げて職場の同僚と飲みに行きました。

まちの元気で日本を幸せにする！



PROFILE

Takayuki Seto

平成16年4月 総務省採用
自治税務局都道府県税課
平成18年4月 山形県総務部市町村課
平成20年4月 自治財政局地方債課
平成22年4月 地方公共団体金融機構資金部資金課主査
平成25年1月 内閣府地域経済活性化支援機構法準備室
平成25年4月 現職

■ 仕事の内容

地域の元気創造への取組

グローバル化や人口減少、少子高齢化が進む中で、自立的で持続可能な地域として活力を維持するためには、将来にわたって地域で収益を生んでいく投資が必要です。

そこで、総務省では、「まちの元気で日本を幸せにする！」をミッションとして、「地域の元気創造プラン」を策定しました。

その中で、私が担当している主な業務は、「地域経済イノベーションサイクル」や「分散型エネルギーインフラプロジェクト」に関するものがあります。

いずれも、各地域において、自治体を中心となって、産業界、大学、地域金融機関、地域住民等と連携して行う地域からの経済成長の取組に対して、総務省として、関係省庁とも連携しながら支援するものです。

このように地域の活性化を主な業務とし、対象とする分野は幅広いですが、個人としても、こうしたノウハウを新たに地域活性化に取り組む自治体の相談などにフィードバックしていくことは、非常に意義深いと感じます。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

幅広い業務のフィールド

現在担当している業務は、民間活力を引き出し、地域の経済循環を創造する各地の取組を支援することです。

現状、人口減少下で需要増が見込めない地域で起業する場合、期待される収益率との関係で、初期投資コストの水準によっては、事業化に至らない場合が多いかもしれません。

一方で、あと一步の初期投資の公的支援をすることで、事業自体は市場原理に沿って民間事業者が運営しつつ、地域の資源を用いた事業を通じて、農地・山林の再生や交流人口の増加等のほか、地元雇用の創出や産業界の底上げなど社会的にも望ましい効果を持つ事業の立ち上げが可能となる場合があります。

これまで私は、地方税財政に関する業務などに携わってきましたが、こうしたビジネスプランを支援する実践的な取組を含めて、幅広い業務のフィールドが提供される総務省で仕事ができることは、自らの見識を深めるにあたっても格好の職場と言えます。

■ PRIVATE TIME

休日は、家族とでかけ、子どもと遊ぶことで、自らもリフレッシュを図っています。



とある 一週間

■ MONDAY

地域活性化に取り組む自治体からの相談を受けます。

■ TUESDAY

他省庁で開催する会議に出席します。

■ WEDNESDAY

民間コンサルタントと打ち合わせます。

■ THURSDAY

打ち合わせ資料や会議資料を作成します。

■ FRIDAY

地域の取組を勉強するため、現地に訪問します。

03 自治財政局

地方債課企画係長

澤田 洋一

気づいたら15年目突入。。。。



PROFILE

Yoichi Sawada

平成11年10月	自治省採用 大臣官房会計課
平成13年 1月	総務省自治財政局地方債課
平成13年 8月	北海道総合企画部地域振興室市町村課
平成15年 4月	公営企業金融公庫総務部企画課
平成17年 4月	自治行政局選挙部政治資金課管理係長
平成18年 4月	自治行政局選挙部政治資金課 収支公開室収支公開第一係長
平成21年 4月	自治財政局地方債課調整係長
平成23年 4月	自治財政局交付税課交付税第一係長
平成25年 4月	現職

■ 仕事の内容

ローンのお手伝い？

皆さんの家庭でも、家を建てる時は一時に多くのお金がかかるので、住宅ローンで負担を平準化するのが一般的だと思います。地方公共団体も、学校などを建設する時は一時に多くのお金がかかるので、ローンで負担を平準化します。住宅ローンは給料で返していきませんが、有利な返済方法を選択して減税制度を活用すれば負担を軽減できます。地方公共団体のローンは税金で返していきませんが、低利で長期の資金を借り、償還金の一部が地方交付税で措置されるものを活用すれば負担を軽減できます。住宅ローンを組む際は、銀行が負担を軽くするためにアドバイスしてくれますが、地方公共団体がローンを組む際は、総務省が平準化できる割合が高く元利償還金の交付税措置の割合が高いものを活用できるようアドバイスしたり、財務省と調整して低利で長期の資金を確保します。私が勤務している地方債課の仕事は、このような地方公共団体の財政運営のお手伝いです。

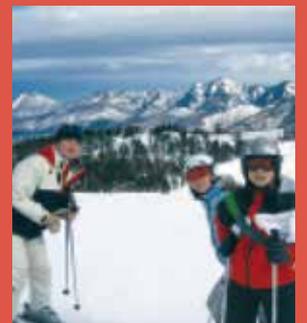
■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

いろんな意味で懐が深い職場

これまで様々な業務を経験してきました。直近では、16兆円を超える地方の財源を千円単位で、誰もが納得できる方法で適切に配分するという普通交付税の算定を行いました。各自がそれぞれの持ち場で責任を果たし、共に高い山を登っていくような「これぞチームプレー」という仕事です。算定が終わった後は有志で本当に富士山に登ります。東日本大震災の影響もあり仕事は大変でしたが、先輩や地方からの出向メンバーにも支えられ、大変熱く濃厚な時間でした。また、選挙部ではオンラインシステムの構築を担当しました。アナログな私ですが、専門用語を自分の中で分かりやすく変換し、常にユーザー代表という意識を持って、SEやシステムコンサルの方々と粘り強く交渉しました。総務省はエキサイティングな仕事や仲間と出会える機会に恵まれており、「素直な気持ち」と「やる気」を持って飛び込めば、きっと明るく楽しい公務員ライフが待っていると思いますよ。

■ PRIVATE TIME

休日は家族との時間を大切にしています。子供たちも大きくなってそれぞれ忙しくなってきましたが、みんなの日程が合う時は家族で出かけます。昨夏は東北旅行、昨冬は安比高原や志賀高原でスキー三昧でした。もはや子供たちに付いていくのがやっとですが、こんな形で子供の成長を感じるのもなかなかいいものです。



とある一週間

■ MONDAY

明日の国会質問の準備です。地域の防災・減災対策への支援に関するものです。

■ TUESDAY

都道府県から提出された起債予定額をチェックし、疑問点を確認します。

■ WEDNESDAY

地方からの声も踏まえ、来年度に向けた規定の改正を検討します。準備は入念に。

■ THURSDAY

昨日整理した内容を上司に説明します。ストーリー性のある説明を心がけています。

■ FRIDAY

経済対策で追加された公共事業用の資金を増額しました。一区切りなので打上げです。

自治行政局

自治財政局

自治税務局

消防庁

04 自治税務局

自治税務局市町村税課諸税係長
併任 大都市税制係長
渡邊 雄太

時に支え、時に支えられながら。



■ 仕事の内容

税の役割

自治体の提供する教育、福祉、消防などの行政サービスにはお金がかかります。そのため、自治体はいろいろな方法によりお金を集めますが、その中で重要なものの1つが税です。私の職場では、この税の中でも、地方税である市町村税の制度設計などを業務としています。

今年行った大きな制度改正として、軽自動車税の見直しがあります。昭和59年以来30年ぶりの税率の見直しであったこともあり、与野党、関係省庁、業界団体を巻き込んで激しい議論が行われ、その様子は連日ニュースや新聞に取り上げられました。自分の仕事が社会に与える影響の大きさを実感しました。

税については、様々な意見があります。厳しい批判を受けることもあります。行政サービスを確実に実施し、国民の生活を充実させる税の役割を考えれば、その必要性を訴え、またこれを守るために汗を流す今の仕事は、とてもやりがいがあると感じています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

人と人とのつながり

総務省では、本省採用の職員他、自治体から出向という形で総務省に来て、一緒に働いてくれる職員がいます。また、我々も自治体に出向する機会があります。こうした中で、自治体の職員と一緒に働きながら親交を深めることは、地方と向き合いながら仕事をする総務省の職員としてとても大切です。

私は今でも、以前一緒に働いた自治体の職員に仕事の相談をしたり、上京した際には一緒に食事に行きます。私が旅行などで訪ねた際に現地を案内してもらったことや、家に泊めてもらったこともあります。国と地方という肩書きの違いはあっても、会えば昔のように笑いながら肩をたたき合える仲間が全国にいると思うことで、いつも勇気づけられています。

東日本大震災を経験し、絆の大切さを改めて学んだ私たちですが、総務省の仕事も、人と人とのつながりによって成り立っています。全国に広がる縁に支えられながら働くことができます。これが総務省の魅力だと思います。

■ PRIVATE TIME

最近、カメラを始めました。もともと旅行先の風景などを写真に撮るのが好きでしたが、一眼レフのデジタルカメラを購入し、家の周りの何気ない景色なども写真に納めています。見慣れた街並みも、立ち止まってよく見ると、いつもと違った印象を与えてくれます。気分も新たに、また頑張れる気がします。



■ PROFILE

Yuta Watanabe

平成19年 4月	総務省採用
	自治財政局財政課総務室
平成20年 4月	自治財政局公営企業課
平成21年 4月	和歌山県総務部総務管理局市町村課
平成23年 4月	総務省大臣官房総務課国会連絡室
平成25年 4月	現職

とある 一週間

■ MONDAY

局内の週間予定を確認。議員事務所からの問い合わせに対応。

■ TUESDAY

上司から担当税目の論点整理と資料作成の指示を受け、長の手持ち資料を作成。係内で検討。

■ WEDNESDAY

翌日の国会で答弁をする局答弁をする局長を国会中継で見守りつつ、火曜に指示のあった資料作成。

■ THURSDAY

作成した資料を上司に説明。無事に終了。打ち上げの飲み会へ。

■ FRIDAY

作成した資料を上司に説明。無事に終了。打ち上げの飲み会へ。

自治行政局

自治財政局

自治税務局

消防庁

05 消防庁

総務課

川端 元子

“現場を支える”責任と喜び

自治行政局

自治財政局

自治税務局

消防庁



PROFILE

Motoko Kawahata

平成25年4月 総務省採用
現職

■ 仕事の内容

霞ヶ関から、現場を想う

総務省消防庁は、「消防」とはいえ直接現場での活動をするわけではなく、制度・法令の整備や車両の配備等を通じ消防行政を国の立場から支える役割を果たす組織です。また、災害発生時には災害対応の司令塔としての機能を担う役割を持つ組織でもあります。

私は入省1年目にこの消防庁の総務課へ配属され、主に消防庁予算の執行に係る会計処理業務に携わり、予算編成時期には、概算要求書や予算書関係書類の作成業務、翌年度予算を決定していくヒアリングの場でのメモ取りや資料のとりまとめなどを担当しました。

多くの人のひとつひとつの仕事がつながり、政策が全国各地の現場へ確かに届けられていく過程の一端を担わせて頂いている責任を感じ、また、人や現場との出会いに恵まれた環境の中で、今自分が関わる分野において自分の立場で何ができるだろうかと考えさせられたこの1年間は、この仕事を選んだ者としての幸せを常に感じる事が出来る日々でした。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

“ふるさと”への想いを力に

全国各地に“ふるさと”を持つ人々が、「日本全国の現場のため」というひとつの志の下で働く場所であること。その環境で、現場を第一に想い、現場の最前線である地方を応援する事に携われること。これが、総務省という組織の魅力であると私は思っています。地方の現場が、変化の中でも前向きに頑張っていくための応援をする仕事がしたい。理屈や理想だけではない、現場に納得してもらえる仕事がしたい。そう思っていた私にとって、総務省は、ここしかない！と思える職場でした。

国か地方か、どの省庁・自治体か、迷っている皆さん。総務省には、この場所だから出来る働き方があります。出身地や出向先の“ふるさと”を愛してやまない職員、“ふるさと”を支えてきた現場のプロの皆さんと共に、日本全国の現場をもっと元気にするための挑戦をしてみませんか？

霞ヶ関での地方の仕事を、ぜひ見いらしてください！

■ PRIVATE TIME

平日は、職場の先輩と飲みに行ったり、消防庁のフットサル部・マラソン部の活動に参加したりと、職場のイベントを楽しんでいます♪ また今年の休日は、弾丸の一人旅や同期旅行等々、積極的に日本各地へ出かけました。まだまだ行ったことのない場所が多いので、来年以降も知らない土地を訪ねて行けたらと思っています！



とある 一週間

■ MONDAY

明け方、携帯に地震速報を受信！大きな災害が発生すると、365日24時間時間を問わず職員に連絡が入ります。

■ TUESDAY

今月の執行額が出そろったので、システムへ登録。絶対に間違えられないので、気合を入れてチェックします。

■ WEDNESDAY

今日は消防庁課室対抗フットサル大会！職員一同仕事を切り上げ、試合会場へ！

■ THURSDAY

他課室から、補助金業務に関する相談が。関係法令を整理し、なすべき対応を探ります。

■ FRIDAY

全員参加の徒歩参集訓練。自宅から、2時間かけて職場に到着！TV取材も受け、防災行政に対する関心の高さを実感しました。

PROFILE

Takaaki Niki

平成24年4月 総務省採用
大臣官房秘書課
平成25年4月 現職

10:00AM

意見交換

首長と国会議員との意見交換会に同席。それぞれの首長が地域で抱える課題を説明し、過疎対策特別委員会の国会議員と意見を交換。実際の生の声を聞くことで、また1つ勉強。



13:00PM

現場視察

その後、病院へ移動し、現状説明、議論。先ほどの意見交換会で話題に上がった、医療面の課題を知るべく、視察。まだ、未完成ではあったが、完成すれば、救急医療等、様々な面で幅が広がるとのこと。



13:30PM

取材

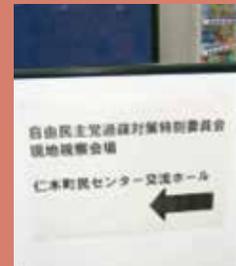
地元記者による、取材。国会議員が取材を受けているのを見て、改めてこの視察の重み、に気づいた。



15:00PM

まさかの...

町名と名字が同じで、国会議員と話すネタに。仁木町を起こした移民の方(仁木さんらしい)の出身も私と同じだった。その末裔ではないか、という噂も...



15:20PM

特産品

仁木町特産のトマトジュース。仁木町は野菜の栽培が盛んでいま、トマトに力を入れているということで、振る舞われた。色彩豊かで、非常に濃く、おいしい。



20:30PM

1 視察の成果まとめ

職場に帰り、視察内容をまとめる。



■ ひとことメッセージ

入省2年目で、国会議員と一緒に地方視察できるところが他にあるでしょうか？今の職場が、国会議員との仕事が多いということもあり、若手の私でも、国会議員と話しをする機会がたくさんありました。

総務省の仕事は他にも幅広くいろいろな業務があり、これからの仕事も楽しみです。ぜひ、幅広い仕事を一緒にしませんか？心からお待ちしています！

06 情報通信国際戦略局

国際政策課

田中 一樹

多彩な出合いが待っています



■ 仕事の内容

世界に目を向けた刺激的な仕事

現在私が所属している国際政策課では、日本の情報通信技術の国際競争力強化のため、欧米諸国と政策対話の実施、国際連合・国際電気通信連合への貢献をはじめ、我が国の事業者の海外展開や円滑な情報流通に向けた環境整備等に取組んでおります。

その中で、私は主に北米地域を中心とした各国に関する業務を担当しております。具体的には、アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ合衆国、オーストラリア連邦、ニュージーランドの国々との間で開催される各種国際会議の対応から、各国の情報通信政策の調査、また幹部の方々がこれらの国へ出張する際の事前準備から同行までと、業務は幅広いです。

インターネットをはじめとした情報通信技術で世界中とつながれる今、そこで生じる課題も世界規模であると思います。そんな世界に目を向けた業務に、日々刺激を受けながら取組んでおります。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

多彩な業務と多彩な職員

このパンフレットをご覧いただければわかるように、総務省は実に幅広い業務を所管しております。実際に、私も情報通信分野に関わる仕事をしたいと考え入省したわけですが、自治税務局で個人住民税の業務を担当させていただく機会もありました。また、情報通信分野と一口に言っても、関わり方は非常に様々です。ぜひ、いろいろな機会を活用して、総務省のことを調べてみてください。

また、業務が多彩なら、そこで働く人々も実に多彩であり、非常に魅力的な人が多いと思います。特に私は現在国際関係の部局で働いていることから、周りを見回すと、実に国際経験豊かな方が多く、業務だけでなく、そこで働く人からも日々刺激を受けられる、そんな職場であると思います。

■ PROFILE

Kazuki Tanaka

平成19年10月	総務省採用
	総合通信基盤局電波部電波環境課
平成20年 7月	自治税務局市町村税課
平成22年 7月	総合通信基盤局総務課
平成24年 8月	現職

■ PRIVATE TIME

平日仕事はどうしても一日中座りっぱなしになってしまうことが多いので、土日は出来るだけ外に出て、活動的に過ごそうと努めています。最近は、目的を定めず気軽に街歩きをしつつ風景をカメラに収めたり、毎週末スポーツジムに通ったりすること等が、ほどよいストレス解消になっています。



とある

一週間

■ MONDAY

海外からの要人による、省幹部への表敬訪問に対応。

■ TUESDAY

省幹部の海外出張準備のため、必要となる経費支出について担当者と相談。

■ WEDNESDAY

省幹部の海外出張に向け、現地公館と様々な調整、相談。

■ THURSDAY

月曜日の要人来訪の結果を総務省HPにアップするための準備。

■ FRIDAY

海外の情報通信政策について、諸外国の政府HPから情報収集など。

07 情報流通行政局

情報流通振興課
情報流通高度化推進室企画係長
岩崎 未希子

総務省ってどんなところ!?



PROFILE

Mikiko Iwasaki

- 平成10年 4月 郵政省採用
- 平成10年 7月 通信政策局政策課情報通信利用振興室
- 平成15年 8月 東海総合通信局無線通信部公共課
- 平成17年 4月 情報通信政策局
情報通信利用促進課企画係長
- 平成19年 7月 郵政行政局信書便事業課信書便第二係長
- 平成21年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部
事業政策課企画係長
- 平成23年 7月 内閣府政策統括官(沖縄政策担当)付
参事官(企画担当)付主査
- 平成25年 7月 現職

■ 仕事の内容

テレワークによるワークスタイル変革

現在、私は「テレワークの推進」に取り組んでいます。「テレワーク」とは、簡単に説明すると、ICT機器や通信ネットワークを活用して、自宅や出張先でもオフィスと同じように仕事ができるようにしましょう!ということです。

在宅勤務などのテレワークは、行き帰りの通勤時間の削減や、すきま時間の有効活用、中抜けなどの柔軟な勤務等が可能となり、育児中の方々を始め、大きなメリットが期待されます。また、少子高齢化が進む中、介護離職の問題も懸念されますが、介護との両立を図りながら継続して働くこともできます。ちなみに、総務省でもテレワーク制度が導入されており、希望者は在宅勤務ができるんですよ。

様々なメリットが期待されるテレワークは、一部企業ですですでに導入されていますが、全体的な導入率はまだ低い状況です。我々としては、多くの方にテレワークのメリットを実感してもらうべく、日々、テレワークの普及促進に取り組んでいます。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

総務省の魅力

ICTは我々が抱える様々な社会課題を解決し、今までとは違ったひとつ上のステージへと導く重要なツールです。総務省は、その基盤を構築するとともに、それをどのように活用して課題解決につなげていくかを考えていく職場だと思います。

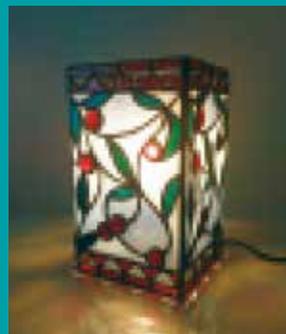
私が以前担当していた業務で、現場の、まさに当事者の方々とお話しした際に、こんなことを言われたことがありました。「我々は社会に存在する壁を飛び越える努力をしています。その代わりに、あなた方は、ICTを活用することによって、その壁を少しでも下げられるよう取り組んでください。」と。

ICTの活用によって、今までだったらできなかったことが可能になる、そして、社会が少しずつ変わっていく、大きなことを言ってしまうえば、そのお手伝いをするのが総務省の仕事なのかもしれません。

総務省は、様々な視点から多くのことを学ぶことができる職場です。ぜひ、その魅力を実感いただければと思います。

■ PRIVATE TIME

入省後、仕事以外にも新しいことにチャレンジしたいと考え、ステンドグラス制作を始めました。教室にも通いつつ、休日にはステンドグラス作りを楽しんでいます。ガラスは光を通すとまた違った印象になり、出来上がりをイメージしながら、全体のデザイン、ガラスの色や組み合わせを考えていくのは、とても楽しい作業です。



とある一週間

■ MONDAY

テレワーク関係省の担当者で意見交換。お互いに密接な連携が必要です。

■ TUESDAY

金曜日のセミナーで使うプレゼン資料を作成。分かりやすいスライドを心がけます。

■ WEDNESDAY

室内で打ち合わせ。現在の進捗状況と今後の進め方を確認しました。

■ THURSDAY

本年度の事業執行について外部の関係者を交えた打ち合わせを行いました。

■ FRIDAY

本日は出張!テレワーク普及促進セミナーで総務省の取組を紹介します。

08 情報流通行政局

放送技術課

塚田 里美

総務省には多彩な仕事があります！



情報通信国際戦略局

情報流通行政局

総合通信基盤局

PROFILE

Kazuki Tanaka

平成21年11月 総合通信基盤局電波部電波環境課
監視管理室

平成23年 7月 総合通信基盤局電波部
衛星移動通信課

平成25年 7月 情報流通行政局放送技術課

■ 仕事の内容

放送技術課の業務

みなさんにとって、テレビやラジオなどの「放送」は身近なものだと思いますが、その「技術」となると、あまり馴染みがないかもしれません。どのようなのか例をあげますと、タワーの放送設備からみなさんの家のテレビに電波を送ることが放送であり、その電波や放送局の周波数や変調方式などが技術の部分となります。

私が所属している放送技術課は、この電波や放送局の制度整備・許認可業務、また、日本の放送システムの国際展開などを行っています。そのなかで、私はラジオ放送を担当しており、新しい放送システムの導入のため、既存の通信や放送に影響を与えないよう調整しながら、どの周波数や変調方式にするかなどの基準を定める制度整備を行っています。制度整備は日本初となるシステムの導入に携わることが多く、最新の技術にも触れられ、やりがいのある仕事です。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

総務省の魅力

総務省の魅力の一つは「人」です。官庁訪問のときから話しやすい人が多いという印象をもっていました。実際入省してみるとその印象どおりでした。困ったときは上司が相談にのってくれますし、落ち込んだときは同僚や先輩が励ましてくれます。さらに、技官の職員は自分の専門分野に思い入れのある人が多いので、技術面でわからないことを相談すれば、きっと熱く語ってくれます。

もう一つの総務省の魅力は幅広い分野の仕事に携わることができることです。以前、所属していた衛星移動通信課では、JAXAが使用する無線局の許認可業務を担当していました。子どもの頃SFを読み、宇宙に興味をもったこともありましたが、まさか自分が宇宙に関わる仕事をするとは思っていませんでした。みなさんも、総務省で意外な仕事に出会えるかもしれませんよ。

■ PRIVATE TIME

去年は省内で登山仲間を見つけ、世界遺産となった富士山や谷川岳などいろいろな山に登りに行きました。いつもコンクリートに囲まれたビルの中で仕事をしているので、山の中に入ると、リフレッシュできます。特に下山した後の温泉は最高です！山以外の土日は友人と会ったり、家でのおんびりしたりしています。



とある

一週間

■ MONDAY

今週の予定を確認。水曜日の会議に向けて関係者と打合せを行います。

■ TUESDAY

締め切り直前まで明日の会議資料を修正し、最終チェック後に印刷します。

■ WEDNESDAY

いよいよ当日。事務局として会議の運営を行い、会議は無事終了。

■ THURSDAY

今日は、実験試験局の申請相談者と打合せを行います。

■ FRIDAY

昨日申請相談者から提出された資料について確認・調査を行います。

09 総合通信基盤局

電気通信事業部消費者行政課
服部 裕史

迷惑メールを撲滅せよ



■ 仕事の内容

9割以上は海外から！？

皆さんの携帯やPCに届く迷惑メール。実は9割以上が海外から送られてきています。

特定電子メール法という法律では、原則あらかじめ同意した者以外への広告宣伝メールの送信を禁止しており、現在、私はその法律の執行に従事しております。しかし、我が国に到着した迷惑メールの9割以上は外国発のものであるため、他の国々とも協力して迷惑メール対策に取り組む必要があります。毎年10月頃にロンドンアクションプランという会合が開催され、各国の迷惑メールに関する情報共有や他の国々との連携の確認を行っております。昨年はカナダにて開催され、私も参加し、日本の迷惑メール対策の現状についてプレゼンをし、今後の迷惑メールに対する方針について議論してきました。

その会議、なんと今年は東京で開催されるのです。そのため今から準備に必死に取り組んでいます。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

「総務省に入って何がしたいですか？」

面接時には必ず聞かれるこの質問、パンフレットをご覧になっているあなたは何と答えるでしょうか。日々進歩する情報通信の分野でこの国を良くしていきたい？災害時にも必ず連絡が取れるようなインフラ整備をしたい？みなさんそれぞれのやりたいこと、そして仕事するにあたっての夢や希望を持っていることだと思います。

ただ、実際総務省に入省し、行政官として働いていくと、日々考えることは「したいこと」ではなく「やること」になってしまい、当時の夢や希望を持っていた頃を思い出すことはめったにありません。

総務省の業務は非常に多岐に渡っています。「将来、何がしたいか」を一番考える時期はきっと今だと思いますので、面接用に回答を用意するだけでなく、自分の未来のためによく考え、よく調べて下さい。入省後、それはきっとあなたの活力となるでしょう。

■ PROFILE

Mikiko Iwasaki

平成22年10月 総務省採用
総合通信基盤局電波部電波政策課
平成23年 4月 総合通信基盤局電波部移動通信課
平成25年 7月 現職

■ PRIVATE TIME

最近では月1回ほど日本各地を旅行するのにはまっています。職場の同僚や先輩など、同行するメンバーはまちまちですが、おいしいものを食べにいたり、パワースポットを巡ったりして見聞を広めています。学生の頃とは価値観が違ってきたのか寺社仏閣巡りも楽しく感じるようになりました。



とある 一週間

■ MONDAY

特定電子メール法の執行についての会議に参加。今週の執行予定を立てます。

■ TUESDAY

迷惑メール対策の連携を取っている国々との電話会議。時差の関係で真夜中に意見交換。

■ WEDNESDAY

民間の迷惑メール対策を発表する会合に出席。今後の執行の参考になることをメモ。

■ THURSDAY

特定電子メール法について弁護士から入電。法の解釈について説明。ご納得の様子。

■ FRIDAY

今週の執行状況をとりまとめ、来週の執行会議用の資料を作成する。終わり次第飲みに出かけます。

10 総合通信基盤局

電波部移動通信課
岡本 千世

QOL(クオリティ・オブ・ライフ)実践



PROFILE

Chise Okamoto

平成16年 4月	総務省採用
平成18年 8月	総合通信基盤局国際部国際政策課 総合通信基盤局電波部電波政策課 国際周波数政策室
平成20年 7月	情報流通行政局地域通信振興課
平成25年 4月	総合通信基盤局電波部移動通信課
平成26年 1月	現職

■ 仕事の内容

陸上移動無線局に関する許認可業務

限りある資源である電波を有効に活用するため、業務用無線局（例えばスポーツ競技やタクシーなどで使われます）の免許の申請に関して省内や外部の関係者と調整を行ったり、地方部局対応をするのが私の仕事です。電波は周波数ごとに法令で用途が厳密に定められており、免許の付与にあたっては他の無線局と混信が発生しないように慎重に検討しなければなりません。電波法は条文が複雑なので、間違いの無いよう同じ条文を繰り返し音読したり、読む人に誤解を与えないよう、公文書で使う言葉には細心の注意が必要だったり、頭を悩ませることも多いですが、分からないことは一人で抱え込まず、法律に習熟している先輩や上司に相談に乗っていただきながら仕事を進めています。報道で自分が携った業務用無線が使われているのを見た時は、自分のやっていることが役立っているという実感があります。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

子育てと仕事の両立

総務省では、女性が子どもを持ちながらライフスタイルを選ぶ事に対して理解・サポートが得られます。私は2人の子どもの母親ですが、それぞれ2年半、1年半の育児休業を取得しました。現在は、2度目の育児休暇から仕事に復帰して10ヶ月たちます。まだ子どもが5歳と2歳で幼く、保育園の迎えの時間があるので、2時間の育児時間を取得して働いています。行政文書の作成から、電波法や関連文書の解釈まで日々教わることばかりですが、育児による突然の早退等にも理解があり、また業務においては厳しくも丁寧に指導して下さる上司・同僚をはじめ、職場にはとても感謝しています。ドッグイヤーと言われるように技術革新の激しい情報通信分野にあって、子育てしつつスキルアップをし、かつ育児における大変な時期を乗り越えたら、より仕事を頑張りたいです。

■ PRIVATE TIME

趣味は手芸です。ビーズでアクセサリーを作ったり、子どもの手袋や帽子を編んだりします。休日は、娘と一緒に絵描きをしたり、息子が好きなので駅まで電車を見に行ったりと、子どもたちと一緒に過ごすことが多いですが、たまに夫に子どもを見てもらって（夫に感謝）、ピアノを弾いたり買い物に行くなど、自分一人の時間も大切にしています。



子供達と、公園にて

とある

一週間

■ MONDAY

課内のミーティング。業務状況を報告し、課長から今後の進め方などの指示を受けます。

■ TUESDAY

新たな申請や問合せがあるか、メールを確認。内容により上司とも相談して回答します。

■ WEDNESDAY

事業者のところへ出向いて打合せ。ビジネスに直結するため緊張します。

■ THURSDAY

新たな無線局の免許申請が、迅速な処理が必要な場合、書類作成・決裁でばたばたします。

■ FRIDAY

保育園の発表会のためいつもより早めに退庁。子供たちの成長が感慨深いです。

10:00AM
開会式

四年に一度のアジア=太平洋郵便連合(A P P U)大会議の始まり。アジア、太平洋諸国から政府関係者や郵便事業体の代表者が出席します。今回のホスト国はインド。近年発展著しい国だけでなく、盛大な開会式です。



PROFILE

Yuta Osanai

平成25年 4月 総務省採用

現職

12:30PM
昼食

インドでは朝昼晩すべての食事にカレーとナンが出てきます。チキン、マトン、ダル(豆)等様々な種類のカレーがあります。



14:00PM
オープニング・セッション

今回は次期A P P U事務局長選挙があり、中国、インドネシア、パキスタンからの立候補者が演説。会議最終日の投票へ向けて、三国のアピール合戦が始まります。



16:00PM
財政委員会

財政委員会では、予算の適正な執行管理のため、日本も積極的に発言。最終的に日本提案が採用されました。郵便の世界では日本の存在感はかなり大きく、世界の郵便の発展に貢献しています。



19:00PM
日本主催の夕食

夕食は、総務省と日本郵便株式会社の共催による日本招宴。一年目ながら司会をさせていただきました。もちろん英語です。



23:00PM
明日へ向けて

議論の内容を忘れないうちに報告書をまとめて就寝。まだまだ会議はつづく...



■ ひとことメッセージ

私の所属する国際企画室は、郵便に関する国連専門機関である万国郵便連合(U P U)の会議に参加しているほか、T P P・W T O等の通商交渉、郵便インフラの海外展開といった案件も担当しています。私はU P U担当兼庶務担当として関連の会議(A P P U大会議もそのひとつ)に参加させていただきました。総務省には、当室のほかにも国際的な案件に携わることのできる課室が幾つもあるので、国際的に活躍したい方にもおすすめです。

11 人事・恩給局

勤務形態専門職

鈴木 勇作

霞ヶ関からワーク・ライフ・バランスの実現を!



PROFILE

Yusaku Suzuki

- 平成13年 4月 総務省採用
統計センター人口製表部人口製表第一課企画係
- 平成15年 4月 独立行政法人統計センター総務部経営企画室計画係
- 平成16年 4月 独立行政法人統計センター総務部経営企画室企画係
- 平成18年 1月 統計局総務課企画調整係
併任 統計局統計調査部調査企画課
- 平成18年 7月 大臣官房企画課
- 平成19年10月 大臣官房管理室公益法人行政推進室
- 平成20年12月 内閣府公益認定等委員会事務局総務課調査係長
併任 内閣府大臣官房公益法人行政担当室室主査
- 平成21年 4月 神奈川行政評価事務所年金記録確認神奈川地方第三者委員会事務局調査員
- 平成23年 8月 内閣官房副長官補付
- 平成24年 4月 統計局総務課主査
- 平成24年 6月 育児休業
- 平成25年 5月 現職

■ 仕事の内容

男女が共に仕事と子育て等を両立できる社会の実現のために

国家公務員のワーク・ライフ・バランスの推進が私の仕事です。具体的には、超過勤務縮減対策や男性職員への育児休業等の取得促進です。

超勤縮減対策ではシンポジウムも開催していますが、ご参加いただいた有識者から、国と民間企業が関わる場面は多いため、役所の働き方を変えることによる日本社会全体に対するインパクトは大きい、とコメントがありました。また、超勤縮減は女性の活躍推進にも大きく関わるので一層の取組が必要です。

男性職員の育児等取得促進業務では、新規にハンドブックを作成しました。制度解説の他、先輩イクメンインタビューや有識者アドバイス、育児マンガ等も掲載しています。内容の企画から始まり、原稿やデザインの検討、最後はタイトルや表紙の絵の決定まですべてを仕切り、各省から追加発注の要望をいただくほど、評判のいいものが出来上がりました。皆さんも入省したらぜひ『イクメンパスポート』（というタイトルです）を読んでください!

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

育児休業取得の経験を活かして

私は入省以来、霞ヶ関勤務だけではなく地方部局や独立行政法人勤務、内閣官房等への向かも経験しました。様々な業務を担当できるので、毎回新鮮な気持ちで働いています。

また、私は育休を取得しましたが、その直後に男性職員への育休等取得促進を担当する現職に就いたため、経験も活かして働いています。現職では育休等の取得を考える男性職員向けの講演会を全国で開催していますが、出席者からは、取得に当たっての職場での人間関係や上司への話の切り出し方等の相談もあります。男性の育休取得者数は少なく、周りに相談相手がいないため、皆さん苦労しているようです。講演会後も電話やメールで切実な相談が寄せられるのですが、経験者として相手の気持ちをより理解した上での回答やアドバイスを心がけています。

経験を活かし男性職員の積極的な育児参加の促進を行い、また超勤縮減も併せて、ワーク・ライフ・バランスの推進を図りたいと思います。

■ PRIVATE TIME

休日は2人の子どもを連れて近所の砂浜で遊びます。貝殻を持ち帰りベランダに置くので、いつも海の香りがします。また2人が好きな餃子を家で手作りします。小さな姉弟が散らかしながらも不恰好な餃子を作り、それを競うように食べる姿を見るのは幸せです。

この子たちのためにも、ワーク・ライフ・バランスが当たり前な社会を実現させたいと思います。



とある一週間

■ MONDAY

週末の出張に向けて資料等の準備。ランチは業務で知り合った他省のイクメン友達と!

■ TUESDAY

『イクメンパスポート』完成間近。表紙を何色にするかで上司と意見が分かれ、しばし議論。

■ WEDNESDAY

国会対応が入る。上司的確な指示により、スムーズに資料作成が完了しました。

■ THURSDAY

ワーク・ライフ・バランスに関して副大臣と勉強会。熱く語る副大臣の言葉に胸を打たれました。

■ FRIDAY

育児等取得促進講演会(大阪)当日。舞台上で話すのはいつも緊張します。

12 行政管理局

主査（行政通則法担当）
谷 淵 見 介

「行政手続」の世界はいかが？



PROFILE Kensuke Tanibuchi

- 平成 9年 4月 総務庁採用
中国四国管区行政監察局
- 平成16年 4月 行政管理局主査
併任 行政管理局企画調整課行政手続室
- 平成18年 7月 行政管理局行政情報システム企画課
個人情報保護第三係長
- 平成19年10月 行政管理局行政情報システム企画課
文書管理企画係長
- 平成23年 4月 行政管理局企画調整課企画法令第一係長
- 平成25年 4月 現職

■ 仕事の内容

役所を規律する法律の元締め

「役所」という組織は、たとえば免許証を交付したり、違反業者の営業許可を取り消したりすることができます。これらは、法令という社会の約束事に基づいてされる「公権力の行使」と呼ばれる作用ですが、強制力を伴うものですので、取扱いを誤ると、国民の権利利益が違法・不当に侵害され、適正・公正な行政の運営が損なわれることになります。

このような事態を回避したり是正したりするために定められているのが、「行政手続法」と「行政不服審査法」。我々行政手続室は、全府省、そして地方公共団体を守るべき共通ルールであるこれらの法律について、その考え方の説明に責任を負いつつ、運用状況の調査や課題の検討、より適正な運用を目指した各方面への助言・要請などを行っています。

なお、平成26年4月現在、半世紀振りの大改正となる行政不服審査法改正法案の立案作業を終え、具体的な運用を思い描きながら国会審議を待っているところです。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

全府省との真剣勝負

総務省は、行政管理や行政評価など、行政運営をよりよくするために各府省に直接働き掛ける仕事を数多く担っています。私もこれまでに、行政手続法の改正、情報公開法・個人情報保護法の運用、全府省用汎用型文書管理システムの設計開発など、全府省を守るべき「共通ルール」を考えたり改善したりする仕事に携わってきました。

そして、こういった仕事では、各府省との連絡調整を担う中堅・若手職員の働きが特に重要になります。新しい「共通ルール」の提案は、それぞれの立場で運用を積み上げてきた全府省との果し合い。府省それぞれに異なる事情がある中で、相手の主張に耳を傾けつつ、話が通らない原因は何か、何をどのような順番で説明すべきか、こちら側が改めるべき点はないか、などといったことを常に考えながら、丁寧な検討・説明を重ねていきます。

国民の利益のために繰り返す全府省との真剣勝負。総務省ならではの仕事です。

■ PRIVATE TIME

今日も音楽室に一番乗り。うーん、やっぱり「キャッツ・テイルズ」は難しいなあ、臨時記号やたらと多いもんなあ。あっ、来月贊助で吹く「第六の幸福をもたらす宿」もさらっとなないと。おっと、夏にオケでやる「威風堂々」も要練習。えっ、もう合奏始めるんですか？



とある一週間

■ MONDAY

某自治体から行政不服審査法についての質問あり。裁判例などを整理して回答。

■ TUESDAY

某省から行政手続法施行令の改正の依頼あり。対応の要否を徹底的に検討。

■ WEDNESDAY

某省の職員研修で行政手続法と行政不服審査法の講師を務める。

■ THURSDAY

国会議員に対する制度説明。資料を過不足なく調べて上司を送り出す。

■ FRIDAY

行政手続法施行令の改正案を内閣法制局に説明。了解を得る。

13 行政評価局

総務課機動調査推進室長

萬谷 優人

「行政評価って、おもしろい！」



■ 仕事の内容

機動戦士

私の担当する部署は、「機動調査推進室」。

所属の行政評価局では、行政評価の対象となる府省をグルーピングして、6つの調査担当室（評価監視官室）を設定。これらの調査担当室では、あらかじめ定めた年間調査計画に基づいて調査を実施しているのですが、「機動調査推進室」は、これとは違い、計画に載っていない調査を機動的に実施しています。

具体的には、突発的な事件・事故・災害や議論の高まった社会的問題等を端緒として調査を企画立案し調査を実施します。

平成24年度には、大きな被害を出した「土砂災害」について実態調査をし、25年度からは、皆さんも時々、新聞やテレビで事件や有識者の議論について見かけるとはいますが、「生活保護」についての実態調査を実施していて、現在、その調査結果の取りまとめを行っています（このパンフレットが皆さんのお手元に届くころには、調査結果を報道発表しているかも）。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

いつも心に「なんでやねん」

そう、私たちの仕事は言わば「ツッコミ」の仕事。国の行政にツッコミを入れ、「なんでやねん」、「いい加減に〜しなさい」というお仕事。ですから「的を射たツッコミ」「間のいいツッコミ」をしないと、ウケません。

で、ウケる「ツッコミ」をするために重要となるのが、ツッコミの原点となる問題意識やその判断基準をいかに持つのかということ、そして、その判断基準の原点となる常識を私たちがいかに備えるのかということです。

ですから、私たちの職場では、この「常識」を磨くため、幹部や上司・先輩と垣根なく話ができる土壌があって、仕事の話に限らずいろいろな話、議論をしますし、時には、大学教授等の方々と話をしたりもします。私個人でも、民間の方々と話をする機会を積極的に設けていますというか、よく飲みに行ってます。

皆さんも、私たちとっしょに「常識」を磨き、その「常識」一つ引っさげて、各府省相手に「ツッコミ」を入れに行きましょう。

■ PROFILE

Masato Mantani

- 昭和59年4月 行政管理局採用
中部管区行政監察局
- 平成4年4月 行政監察局副監察官
- 平成6年8月 農林水産省経済局保険管理課
企画調査班調査係長
- 平成18年7月 行政管理局副管理官
- 平成20年4月 内閣官房行政改革推進本部事務局局員
- 平成22年8月 行政評価局調査官
- 平成25年6月 現職

■ PRIVATE TIME

趣味と言える趣味もなく、面白みはないのですが、土日の時間の過ごし方と言えば、こんな感じです。基本、運転手です。

（土曜日） 妻の指令の下、掃除・洗濯のお手伝い。近所のスポーツ・ジムにて2時間程度汗を流す。

（日曜日） 妻の指令の下、車でお出掛け＆スーパーでの買出し手伝い。



とある一週間

■ MONDAY

室内の今週の業務スケジュールの確認。室員と調査事項の打合せ。

■ TUESDAY

東京都の調査。室員から調査状況の報告。対応方針打合せ。

■ WEDNESDAY

厚生労働省の調査。室員から調査状況の報告。翌日の出張会議の打合せ。

■ THURSDAY

福岡に出張し、調査動員した九州管区行政評価局で調査状況について意見交換。

■ FRIDAY

東京に戻り、福岡で得た調査情報を整理し、他の地方局所に情報提供・調査指導。

人事・恩給局

行政管理局

統計局

行政評価局

14 統計局

総務課審査係長
須藤 英明

正確な統計を提供するために



PROFILE Hideaki Sudo

- 平成12年1月 総務庁採用
統計局統計調査部経済統計課事業所・企業統計室審査発表係
- 平成14年8月 情報通信政策局総合政策課情報通信経済室
- 平成16年7月 統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室企画指導第二係
- 平成19年4月 統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室企画指導第二係長
- 平成21年4月 統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室企画指導第一係長
- 平成22年4月 統計局統計調査部消費統計課
物価統計室物価構造調査係長
- 平成24年4月 現職

■ 仕事の内容

文書審査という仕事

私は現在、法令案を始めとする文書審査、組織改編に関すること、例規集の編集に関する業務等を行っています。

文書審査は、各担当者によって練られた文書についてそのコンセプトを考慮しつつ、より完成度の高い成果物とする行程の終盤における事務として、スピードと慎重さという相反する要素を求められる業務です。常にミスは許されず、緊張感の高い日々が続きますが、多種多様な事業に関する完成度の高い書類と常に向き合えるという貴重な時間をいただいています。

また、局内の業務をより効率的に行うことを可能とし、直面している課題に対応するために組織を再編する場合は、関係者と打合せや調整を行い、その内容を基に関係部局への説明資料を作成します。各事業に取り組む上で、体制整備の有無は大きく影響するため、資料作りにも大変熱が入ります。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

幅広く奥深い統計の仕事

これまで、他局での仕事を含め様々な業務に携わらせていただきましたが、特に印象に残っているのは、労働統計に関する国際会議のためジュネーブに出張した2週間についてです。出張前には膨大な会議資料を翻訳して対処方針を準備する必要があり、ハードな日々が続きましたが、会議における諸外国の発表や議論に加えて、パリでフランスの労働力調査について詳しく聞くこともでき、今後の調査において大変有意義な期間でした。

(会議外では、期間中宿泊していたホテルで、上司の隣の部屋から火が出てホテル中が騒然となり、地元の消防士も出動するという忘れられない事件！？もありました。)

統計は、横を見ると他省庁から諸外国まで研究の対象は広がっていると同時に、少し苦労しても深く掘り下げれば掘り下げただけ、より多くの気付きや深い理解が得られる奥の深い分野でもあると思います。私自身、まだ学ばなければならないことばかりなのですが、真摯に向き合っていきたいと考えていますので、共に取り組んでいただける方に出会えることを楽しみにしています。

■ PRIVATE TIME

自分の時間を取ることができる早朝を利用して、興味のある本を読む時間に充てています。出勤前に1つ達成感を満たすこともでき、その日の業務にもプラスの影響が出るように感じます。休日は子供と触れ合うため、一緒に過ごせる貴重な時に感謝するため、疲れて早く寝てもらうため…全力で遊びます。写真はその合間に公園で撮った一枚です。



とある一週間

■ MONDAY

月末に公表する調査結果の報道発表資料の審査を行います。

■ TUESDAY

来年度の組織再編について関係者の方と打合せを行い、関連資料を作成します。

■ WEDNESDAY

何とか資料を作成し、上司に確認してもらいます。OKが出たので大臣官房へ送付。

■ THURSDAY

統計調査の規則改正資料について審査を行い、担当者に確認します。

■ FRIDAY

夜、1週間の業務が終わりほっと一息。とある所で電車(のおもちゃ)に囲まれ時間を忘れず…

人事・恩給局

行政管理局

統計局

行政評価局

「統計業務」を通じてつながるもの



■ 仕事の内容

統計業務で世界とつながる

私が働く経済統計課では、事業所・企業の事業内容や従業者数、売上高など、経済活動の実態を把握するための統計調査を行っています。少子高齢化やIT化、経済のグローバル化が進む中、新しいサービス事業の登場や企業の事業多角化など、事業所・企業の活動も変化し続けています。こうした変化を的確にとらえるために、必要に応じて調査の内容や統計の作成方法を見直しています。そのための情報収集・分析を行うのが私の現在の業務です。

とりわけGDPのシェアが拡大しているサービス産業については、毎年、サービス産業統計に関する国際合会に出席し、各国の統計作成手法に関する情報を収集しています。私はこの合会で、日本の統計手法を紹介するため、初めて英語でプレゼンを行いました。平成25年に統計局がこの合会を主催した際には、その準備・開催業務にも携わることができました。

統計業務を通じて世界とつながっています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

統計業務で過去・未来とつながる

学生時代の私は、数字は「無味乾燥」なものというイメージを持っていました。しかし、統計の仕事に携わるようになってから、数字に表すことで見えてくるものの重要性に気付くようになりました。

例えば、日本にはどれぐらいの人がいて（国勢調査など）、どのような住居に住み（住宅・土地統計調査）、どのような仕事をして（労働力調査など）、どのような生活を送っているのか（家計調査、社会生活基本調査）など、人々の暮らしに関する基本的な情報も、統計局が作成する統計があって初めて明らかになるものです。こうした統計は、人々が暮らしやすい社会をつくるために立案される様々な政策に生かされています。

統計局の調査には長い歴史があります。これらの統計によって、現在へと至った過去の姿を知ることができると同時に、未来を予測することも可能です。

統計業務は現在と過去・未来をつなげる仕事でもあります。

■ PROFILE

Mayumi Fujita

- 平成11年4月 総務庁採用
統計センター管理部情報処理課プログラム第2係
- 平成12年4月 統計センター管理部電子計算機室運用第2係
- 平成15年4月 独立行政法人統計センター製表部
情報処理課（受託保守担当）
- 平成17年4月 日本学術会議事務局学術部情報国際課国際会議係
併任 日本学術会議事務局情報国際課国際調査係
- 平成17年7月 日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）付
国際交流専門職付 併任 日本学術会議事務局参事官
（国際業務担当）付国際会議専門職付
- 平成18年4月 統計局統計調査部調査企画課統計情報官
- 平成21年4月 統計研修所統計図書館外国統計編集係長
- 平成23年5月 現職

■ PRIVATE TIME

週末は、家族や友人と、家やお店で美味しいものを食べながらおしゃべりをして、心身ともにリフレッシュしています。最近、日本酒や焼酎を少し飲めるようになりました。国際合会の日本開催時に自分の言葉で海外からの参加者に日本の文化を説明できるようにになりたい！と思ったのがきっかけです。おかげで食の楽しみの幅が広がりました。



とある 一週間

■ MONDAY

国際合会開催を翌月に控え、国際担当と今後の準備について打合せ。

■ TUESDAY

後輩の国際合会プレゼン原稿がより明快な内容になるよう一緒に検討。

■ WEDNESDAY

サービス業売上高について一般の方から電話照会。HPの統計表をご案内。

■ THURSDAY

国際合会の会場ホテルの下見と同行。設備や料理内容など入念に確認。

■ FRIDAY

国際合会に向けて各国から提出された膨大な英文資料の精読開始。

PROFILE

Kaoru hasaba

平成21年4月	総務省採用
	中部管区行政評価局
平成22年4月	行政評価局評価監視官付
平成23年4月	行政評価局総務課
平成25年4月	現職

8:30AM

1 情報収集

行政評価局では、国の行政機関による政策や制度・業務の運営状況を調査し、必要な改善を促す仕事をしています。調査中のテーマに限らず、今後の調査テーマを企画するためにも、日頃の情報収集は欠かせません。



10:00AM

担当者との連携

行政評価局は、全都道府県に出先機関があり、各地の職員と分担して調査を行います。各地の担当者と調査の状況について随時連絡を取り合い、調査をより深めています。



12:00PM

ランチ

待ちに待ったお昼です。お腹の虫が鳴くのを必死にこらえつつ、昼食に向かいます。食事とおしゃべりでエネルギー補給完了。ただし食べ過ぎには注意。



13:30PM

調査へ

事前に集めた資料を持って、関係機関へ。聞きたいことを整理して、どのような流れで話を進めるかを考えていると、緊張はしますが、楽しくもあります。



16:00PM

今後の検討

調査の進捗状況、現時点で想定され得る問題点などを室内で整理し、今後の調査方針などを検討します。何が問題なのか、どうすれば改善されるのか、具体的に実行できるのか…悩みどころです。



17:00PM

報道資料の準備

既に調査が終わったテーマについては、関係省庁の改善状況を定期的に調査し、その結果を公表します。どんな改善がなされたのか、分かりやすく伝えることも大事なことです。



■ ひとことメッセージ

行政評価と言うと堅苦しく思われがちですが、結局は国の仕事が本当に国民のニーズに合っているかを調べ、問題の改善を促す仕事です。ルールが守られていないから問題なのか、ルール自体がおかしいのか…、改善策を考えるには、専門知識だけでなく一般的な感覚も重要となります。

また、調査の対象も各府省庁にわたるため、いろいろな知識や経験を活かせる場所、得られる場所です。皆さんも、ここ総務省で飽きない仕事をしてみませんか？



統計局 労働力人口統計室

辻 健太



Kenta Tsuji ・ 平成 25 年度入省

■ 総務省を志望した理由

もともとは、学生時代にも少し勉強していた統計に携わる業務に魅力を感じて志望しました。さらに、官庁訪問で実際に職員の方々と接して「絶対にここで働きたい！ 総務省を志望してよかった！」と強く思いました。

■ アフターファイブ・休日の過ごし方

休日はよくジムに行って壁を登っています(そういうスポーツです。)。平日も早く帰った日は壁を登ったり、友人と飲みに行ったりして、仕事同様に充実した日々を過ごしています。

■ 今後どのような能力をつけていきたいか

この後どんな作業や資料が必要になるのかを前もって判断し、適切に準備を整えられる力をしっかりと身に付けたいです。まだまだわからないことばかりなので、周りの先輩方からたくさん学び、力を養いたいです。

行政評価局 総務課 調整係

湖山 しず子



Shizuko Koyama ・ 平成 25 年度入省

■ 総務省を志望した理由

私は、法科大学院で勉強する中で、特に行政通則法に興味を持つに至りました。そこで、同法を所管する総務省で働き、職業としてその運用に携わり、社会に貢献できたらとても幸せなことだなと考え、志望しました。

■ アフターファイブ・休日の過ごし方

休日は、平日とのギャップからか、散歩したりおいしいものを食べたり、とにかくのんびりしています。その次の週からの活力となり、また仕事をがんばれます！

■ 学生へのメッセージ

総務省の業務は幅広いので、やってみたい分野がある方はもちろん、そのような分野がない方も、自分の可能性を見つけ、広げられる職場だと思います。悩んでいる方はぜひ一度総務省に足を運んでみてください。

自治財政局 財政課総務室

前川 雄一郎



Yuichiro Maekawa ・ 平成 25 年度入省

■ 総務省を志望した理由

総務省では、若いうちから国家公務員としてだけでなく、地方の職場においても働けることを業務説明会で知りました。国と地方の両方の立場で仕事ができることに魅力を感じ、総務省を志望しました。

■ 実際に働いた印象

地方自治に関する部局では、全国各地の地方団体の職員と共に仕事をします。地域を元気にするという目標のもと、異なった地域で経験を積んできた職員と仕事をする職場を、とても魅力的に感じています。

■ 今後やりたい仕事

この1年間で、地方自治体の財源を保障すること、調整することの重要性を知りました。今後も地方財政に携わることのできる職場で、さらに見識を深めていきたいと考えています。

自治行政局 国際室

大橋 麻美



Mami Ohashi ・ 平成 24 年度入省

■ 総務省を志望した理由

地域の元気を作る仕事に興味を持ったのがきっかけですが、説明会や官庁訪問の際、総務省で働く方々の生き生きとした姿を見、明るく温かい雰囲気を感じ、是非この職場で働きたいと思ったのが何よりの理由です。

■ 実際に働いた印象

オンオフの切り替えをしっかりとる、非常にメリハリのある職場だと感じています。仕事もプライベートも充実させることができる、そんな印象です。

■ 今後どのような能力をつけていきたいか

一つ先の展開を考えて行動する能力、物事を様々な視点から考える能力をつけたいです。先輩方の仕事ぶりをみていると、自分に足りない部分に気づきます。

情報通信国際戦略局 情報通信政策課

森 浩寿



Hirokazu Mori ・ 平成 23 年度入省

■ 総務省を志望した理由

大学時代に ICT (情報通信技術) の利活用手段に関する研究開発に携わっていたことがきっかけで総務省を志望しました。現在は事務官として勤務していますが、研究開発に携わった経験が役立つことも少なくないです。

■ アフターファイブ・休日の過ごし方

大学時代の友人とカラオケに行くことが週末の楽しみです。長い時は 2 人で 8 時間ほど絶え間なく歌っていることもあります (笑)。

■ 今後どのような能力をつけていきたいか

国家公務員として働く中で、国としての取り組みはスピードを求められることが多いと感じたので、何事もより速く・正確にこなす能力を身につけたいです。

情報流通行政局 郵政行政部企画課

猪股 礼



Aya Inomata ・ 平成 24 年度入省

■ 総務省を志望した理由

多くの人の生活を支える、また、新しい事柄に触れられる仕事に携わりたいと考え、通信インフラを所管する総務省を志望しました。

■ 今後どのような能力をつけていきたいか

業務の中で先輩や上司にご相談すると、自分が見落としていた面からの指摘を受けることが多々あります。知識を増やすだけでなく、持っている知識を最大限に活用して物事を分析する力を身につけていきたいです。

■ 今後やりたい仕事

具体的な分野は想定していませんが、これまでの業務が特殊会社の監督という、特定の会社と深くおつきあいするものでしたので、一度、複数の団体の意見を伺えるような業務に携わってみたいと考えています。

15 管区行政評価局

四国行政評価支局長

安原 英樹

一歩先を行く行政を目指して!

管区行政評価局

総合通信局



PROFILE

Hideki Yasuhara

- 昭和53年4月 行政管理庁採用
中国管区行政監察局
- 昭和63年4月 総務庁（現総務省）行政監察局
- 平成16年7月 総務省大臣官房秘書課調査官
- 平成20年7月 行政評価局評価監視官
- 平成24年4月 中国四国管区行政評価局第一部長
- 平成25年6月 現職

■ 仕事の内容

守備範囲は広いですよ

行政評価局には出先機関（管区局・事務所等全国50機関）を含めて約1,200人の職員がいます。採用はブロック機関と本省の2ルートが用意されていますし、採用後は本省研修を経て、皆さんの希望に沿って採用ブロック内での勤務や出先機関と本省間、また本省内での勤務など多様な選択肢が用意されています。

出先機関での仕事的一端をご紹介します。政府内における第三者的な評価専門機関としての「調査業務」、国民の皆様から寄せられる苦情等を処理する「行政相談」等が代表的なものです。四国支局で平成25年度に実施した調査は、全国一斉に行った生活保護の適正化、刑務所出所者の社会復帰支援、自転車安全対策などです。四国独自には、国の建物等のバリアフリー対策、特定外来生物の防除対策です。仕事の守備範囲は本当に広く、常に新しいテーマに向けての準備が要求されますが、自分の調査結果がマスコミで報道されればその達成感はひとしおです。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

一歩先を行く仕事をやりませんか

経済成長期に建設された社会資本（橋梁やトンネル）の老朽化問題が国や地方自治体で深刻な課題となっています。官民挙げてその長寿命化対策や点検ソフトの開発、要員育成などが急務との指摘を耳にしたことはないですか？これも「笹子トンネル事故」の2年前に行政評価局がいち早く官民に喫緊の課題として警鐘を鳴らしています。先頃四国支局でも独自テーマとして「忍び寄り特定外来生物」の脅威とその対策を調査し、国の関係出先機関に全国初の改善要請を行いました。また、四国管内の高齢者対策に一石を投ずべく「高齢者等の交通手段の確保対策調査」にも取り組んでいます。

常に一歩先を行く仕事にご関心のある方はいつでもお尋ね下さい。そして新たな行政の課題に向かって取り組んでみませんか！

■ PRIVATE TIME

毎月曜日夜は異次元の・・・

縁あって書道サークルに入りました。師範の方々10名余りの中で毎週1時間半、筆を走らせています。大人の中の小学生状態ですが、練習後の30分は「お茶の時間」。ゆっくり時間が流れ、まるで異次元の世界。ちなみに今月の課題は楷書で「春暁」、師範のような筆遣いにはほど遠いですが。



とある

一週間

■ MONDAY

- ・ 定例幹部会
- ・ 担当部長等と地域計画調査（高齢者等の交通手段の確保対策）の調査計画検討

■ TUESDAY

- ・ 行政相談委員地区代表者会議に出席し、意見交換
- ・ 採用関連の人事院OPENゼミの結果分析等

■ WEDNESDAY

- ・ マスコミ公表資料の検討
- ・ 年金記録確認四国地方第三者委員会事務局と事案検討

■ THURSDAY

- ・ 管内事務所長会議資料の検討

■ FRIDAY

- ・ 陸上自衛隊第14旅団往訪（旅団長等と南海トラフ大地震対応関係打ち合わせ）

16 管区行政評価局

富山行政評価事務所
行政相談課行政相談官
磯谷 智子

相談者の目線に立って行政を考える

■ 仕事の内容

ご存じですか？総務省の行政相談

皆さん、こんにちは。ところで、皆さんは「行政相談」って聞いたことがありますか？

行政相談は、公正・中立の立場から、国の行政などへの苦情や意見、要望を受け付け、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かすものです・・・と説明すると堅苦しいですが、誰でも無料で国の行政に関する様々な相談ができます。手続も不要ですので、皆さんにも気軽に利用していただけるものです。

私は、都道府県庁所在地など全国50か所にある行政相談の窓口の一つである富山行政評価事務所行政相談業務に従事しています。事務所では、電話、インターネット、来訪などによる国民からの相談を受け付け、その処理を行うほか、総務大臣から委嘱された民間有識者である行政相談委員（全国に約5,000人）の活動を支援するため、委員対象の会議・研修の企画・運営や、国民の皆さんに行政相談制度をもっと利用してもらうため、PR活動を展開しています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

目線を変えて気づくこと

現在、事務所では、次代を担う子どもたちに行政相談を知ってもらうため、小・中学校などで開催する「行政相談出前教室」に力を入れています。実施後のアンケートには、子どもたちからたくさん相談が寄せられます。実際に相談があった現場を確認すると、大人では気づかない子どもならではの視点があります。

例えば、通学路にある用水に柵はあるけど落ちそうという相談から、子どもの体格だとすり抜けてしまう形状の柵であることに気づいたり、公園の遊具がグラグラして危ないという相談から、外観だけでは不具合があると分からないことに気づいたり、子どもの目線に変えることで見えてくる問題があります。

これらの実際に寄せられた相談を契機に、身近な公共施設が使いやすくなったり、様々な制度の見直しにつながったりすることがあります。自分たちの気づき一つで行政運営の改善の一端を担うことができるのが総務省の仕事の魅力ではないかと思います。

■ PRIVATE TIME

私は現在富山市に住んでいますが、赴任するまで富山は縁もゆかりもない地でしたので、土日は電車に乗って西へ東へと出かけています。氷見線の忍者ハットリくん電車に乗って、海越しの立山連峰を眺めつつビールを飲み、宇奈月温泉からトロッコ電車に乗って、黒部の地ビールを飲み・・・旅好きの方には、地方支分部局勤務はおすすめです。



■ PROFILE

Tomoko Isogai

平成16年4月

総務省採用

中部管区行政評価局

平成17年4月

行政評価局総務課政策評価審議室

平成18年4月

行政評価局評価監視官付

平成21年4月

静岡行政評価事務所評価監視調査官

平成25年4月

現職

とある 一週間

■ MONDAY

電話による行政相談受付。相談者に制度を説明し、手続の窓口を紹介。

■ TUESDAY

明日開催の行政相談出前教室の準備。その後、各種報告の事務処理を行う。

■ WEDNESDAY

行政相談出前教室を中学校で開催。行政相談について分かってもらえたかな？

■ THURSDAY

行政相談委員が開催する定例相談所を訪問。委員と一緒にPR活動を実施。

■ FRIDAY

来所による行政相談受付。関係機関へ照会を行い、改善の余地がないか検討開始。

17 総合通信局

近畿総合通信局放送部放送課

角地 直哉

総合通信局での業務



■ 仕事の内容

地上デジタル放送“完全”移行！

私の所属する放送課では、近畿管内のテレビ局・ラジオ局の許認可事務や放送の受信環境に関する業務などの放送に関する業務を行っていますが、私はその中で、デジタル放送の推進を担当しています。

ご存知のとおり、去る2011年7月24日、テレビは従来のアナログ放送からデジタル放送へと完全移行しました。「もう終わったんでしょ？」と思われるかもしれませんが、山間部など電波の届きにくい一部の地域においては、通常のアンテナ工事などでは受信ができないことがあり、現在暫定的に衛星放送により地上デジタル放送の番組をご覧いただいています（地デジ難視対策衛星放送）。この難視対策衛星放送は2015年3月末までに終了を予定しているため、今後も引き続き地上デジタル放送を視聴いただくために、放送事業者の方々や関係機関とともに、恒久対策の手法を検討し、対象世帯の方へ説明・提案を行い、対策を進めています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

総務省でしかできない仕事

私は2011年までの3年間にもデジタル放送に関わる業務に携わっていました。当時は電話での受信相談や支援制度の周知・説明会などを通じて、一般の方から様々なご意見を伺う機会もあり、無事に移行できるのか、時折悩んだこともありました。大きな混乱もなく歴史的な日を迎えることができ、達成感とともに安堵したことを印象深く覚えています。

以上は、私が経験した仕事の一例ですが、総務本省・総合通信局では、他にも情報通信や電波に関わる様々な業務を行っています。

例えば、テレビ・ラジオやトランシーバー、無線LAN・携帯電話など、日常生活の中でもたくさんの電波が飛び交っていますが、これらの電波が安心・安全で快適に利用できるように、無線局の許認可や電波の監視業務なども行っています。目に見えない電波の監視、これも総務省でしかできない稀有な仕事だと思えます。興味を少しでももたれた方、ぜひ総務省に足を運んでみてください。

■ PROFILE

Naoya Kakuchi

平成17年 4月	総務省採用 近畿総合通信局総務部総務課企画広報室
平成19年 1月	近畿総合通信局無線通信部陸上第二課
平成19年 8月	総合通信基盤局電波部移動通信課
平成20年 7月	近畿総合通信局放送部有線放送課 デジタル放送受信者支援室
平成23年 9月	近畿総合通信局総務部財務課
平成25年 7月	現職

■ PRIVATE TIME

休みは、家族とゆっくり過ごしています。学生の頃から音楽を聴いたり、楽器を演奏することが趣味なので、最近は一歳半になる娘と木琴など子供用の楽器と一緒に遊んだりと楽しんでいます。

また、晴れた日には、淀川の河川敷沿いを自転車でサイクリングして、リフレッシュしています。



とある

一週間

■ MONDAY

朝からメールチェック。各府県対策チームや関係機関からの情報を整理。

■ TUESDAY

難視世帯へ訪問・現地調査。移動時間だけで2~3時間かかることも。

■ WEDNESDAY

局内にて放送事業者や関係機関との会議の準備。せっせと資料作成。

■ THURSDAY

会議当日。会議終了後は、府県対策チームと個別の案件について打合せ。

■ FRIDAY

難視世帯の方へ電話で訪問のアポをとり、現地調査に向けて関係機関と調整。

18 総合通信局

中国総合通信局電波監理部調査課

齋藤 誠

目立たないですが身近な存在



■ 仕事の内容

良好な電波利用環境のために

みなさんが日頃から使っている携帯電話をはじめ、テレビ、ラジオ、飛行機や船、消防・救急など、くらしで身近に存在しているものには電波が使われています。私の業務は、これらの電波を安心・安全に利用いただくための環境を確保することです。

このため、全国に電波監視システムを構築し、無線局等から実際に発射されている電波を受信又は測定することで電波利用環境の監視をしています。社会的に重大な影響が発生すると認められる重要無線通信妨害の申告があった場合には、電波監視システムを使ってモニタリングし、現地へ赴いて調査します。重要行事開催時などの重要無線通信妨害が予想される場合には、通信妨害を排除する電波監視体制をとっています。

このほか混信・妨害の原因となっている不法無線局（免許を受けていない無線局）を排除するため捜査機関との共同取締りや探査活動、電波のルールを守っていただくための周知啓発活動も行っています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

私にもできる？

採用される前、総務省はわたしの生活に身近な存在であると初めて知りました。しかし電波は目に見えない情報通信ってインターネットを使って何をやるのだろう、私に仕事出来るだろうかと非常に不安でした。

総合通信局は、本省に比べると小さな職場です。しかし人が少ない分、職場全員の顔と名前を覚えることができます。わからないことがあっても、みんながお互いを知っているの自然と相談しやすい環境ができていると思います。

私はいままでに情報通信、放送、電波監視と色々な分野を担当させていただきました。地上デジタル放送の普及は特に大変でしたが、どの分野もやりがいのある仕事ばかりです。直接的に国民と向き合う仕事ではありませんが、国民生活に関係していることばかりです。自分の携った仕事が国民のためになっていると実感がある、これこそが総務省の魅力だと思います。

管区行政評価局

総合通信局

■ PROFILE

Makoto Saito

- 平成18年 4月 総務省採用
中国総合通信局情報通信部情報通信振興課
- 平成19年 4月 中国総合通信局情報通信部情報通信連携推進課
- 平成20年 8月 情報流通行政局地域放送課
- 平成21年 7月 中国総合通信局情報通信部情報通信振興課
- 平成23年 4月 中国総合通信局放送部放送課
- 平成25年 4月 現職

■ PRIVATE TIME

職場の有志で結成している野球やテニスのサークルに参加して運動しています。いずれも趣味レベルのものですが、楽しく練習や試合をして汗を流しています。また、野球については年に一度、他の総合通信局が集まって大会があります。平均年齢は高いですが試合では優勝を目指して奮闘し、交流会では親睦を深め横の繋がりが広がります。



とある一週間

■ MONDAY

明日からの出張の打合せや使用する測定機材の準備をします。

■ TUESDAY

捜査機関と共同取締りの打ち合わせ、移動中は探査活動を行います。

■ WEDNESDAY

捜査機関と不法無線局の共同取締りを行います。

■ THURSDAY

捜査機関と不法無線局の共同取締りを行います。

■ FRIDAY

出張報告書を作成し、違反行為者に関する違反処理を行います。



統計調査部国勢統計課課長補佐

西 千奈美



Chinami Nishi ・ 平成3年度入省

平成3年4月 総務庁採用
統計センター管理部情報処理課
プログラム第3係
平成9年1月 統計局統計調査部消費統計課
物価指数第1係
平成11年4月 統計センター管理部情報処理課
統計専門職
平成12年4月 統計センター管理部統計情報官
厚生労働省大臣官房統計情報部
企画課審査解析室
平成14年4月 産業連関表第一係長
平成16年4月 統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室
審査発表第二係長
平成19年4月 統計局統計調査部消費統計課
物価統計室物価指数第一係長
平成22年10月 統計局統計調査部消費統計課
物価統計室統計専門官
平成23年10月 政策統括官(統計基準担当)付
統計審査官付
ストック統計調整専門官
平成25年10月 現職

■あなたにとって仕事とは

「日々勉強」です。世の中の動きは早いので、アンテナを張って情報収集し、仕事に必要なことは常に自分なりに勉強が必要です。それによって今の仕事だけでなく、その後の仕事やプライベートにまで役立つ視野が広がります。

■やりがいを感じた瞬間とは

自分が担当した統計の記事が、新聞などで大きく取り上げられたときです。統計調査の集計データに対する世間の関心が高く、行政施策に与える影響も大きいいため、重要な仕事に携わっていることを実感します。

■求める人物像

希望する仕事や得意な仕事をしていても、事が順調に運ぶことばかりではありません。そのような時、違う視点から物事を考えられる柔軟性や、何事も前向きに取り組む姿勢が大切だと思います。

北海道企業局工業用水道課長

村井 隆一



Ryuichi Murai ・ 平成6年度入省

平成6年4月 自治省採用
行政局振興課
平成8年4月 島根県総務部地方課
平成10年4月 消防庁総務課
平成12年4月 財政局地方債課特別係長
平成13年1月 総務省自治財政局財政課
管理審査専門官付予算係長
平成14年4月 公営企業課公営企業経営企画室
水道・工業用水道事業係長
平成17年4月 自治行政局市町村課
住民台帳第一係長
平成19年4月 消防庁総務課総務係長
平成21年4月 自治財政局交付税課主幹
平成22年4月 自治行政局選挙部政治資金課
支出情報開示室主幹
平成23年4月 自治財政局公営企業課主幹
平成24年4月 現職

■あなたにとって仕事とは

子供達が住みやすい世の中にしたい！現在は鉄鋼・石油・エネルギー産業等に工業用水を安定供給することにより住民生活を支える仕事をしていますが、今後も仕事を通じて少しでも世の中に貢献できればと思います。

■やりがいを感じた瞬間とは

以前、情報開示を制限する住民基本台帳法の改正に携わりました。毎年、すべての部署で法令改正がある訳ではないのですが、住民の安全・安心に大きな影響を与える仕事ができ、責任とやりがいを感じました。

■志望者へのメッセージ

このような世の中を作りたい！という熱意と、人の意見を聞ける素直な人を求めます。自らを向上させることのできる仕事と、地方自治の現場経験を積んだ先輩が皆さんを待っています。

総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課課長補佐

市川 憲史



Norifumi Ichikawa ・ 平成7年度入省

平成7年4月 郵政省採用
大臣官房人事部能力開発課
平成7年7月 大臣官房総務課審議室
平成9年7月 電気通信局総務課
平成10年3月 大臣官房人事部人材開発課
平成11年3月 電気通信局電気通信事業部業務課
平成12年7月 電気通信局電波部電波環境課
平成13年1月 総務省総合通信基盤局
電波部電波環境課
平成14年8月 総合通信基盤局電波部移動通信課
第二業務係長
平成16年4月 総合通信基盤局総務課電波審議係長
平成17年4月 総合通信基盤局国際部国際協力課
情報通信支援係長
平成18年5月 外務省在ミャンマー日本国大使館
二等書記官
平成21年7月 総務省大臣官房秘書課人事第三係長
平成24年8月 現職

■あなたにとって仕事とは

「社会との接点」であると考えています。

日々の仕事が社会に影響を与え、社会の出来事が日々の仕事に影響を及ぼすといった相互関係が、仕事の面白さ・やりがいにも結びついているのではないかと思います。

■求める人物像

何事にも面白みを見いだせる方が良いのではないのでしょうか。

一職員の担当分野は非常に狭い場合もあります。その社会の縮図でもあるミクロスペースにどれだけ愛着を持つことができ、面白みを見いだせるかが重要です。

■志望者へのメッセージ

私が国家公務員になってからの期間は、いわゆる「失われた20年」と重なっています。そろそろ、いい加減、時代の潮目が変わっても良い頃ではないのでしょうか。日本の活力を取り戻すべく、共に働く仲間を求めます。

20 地方自治体

京都府政策企画部調査統計課主事

林 栄一

「数字の海」を泳ぐ



■ 仕事の内容

最強の協力者であり、最大の利用者

それは、地方公共団体です。統計調査は、調査業務の大部分が都道府県の統計課職員と調査員によって支えられています。国勢調査など大規模な調査では市区町村職員もその一員です。正確性や個人情報の保護などのため、総務省統計局などが詳細に定めた調査規程があります。この調査規程などにに基づき、大変な調査業務を全都道府県が実行することで、世界トップクラスの正確な統計が作られ、統計局などによって世に送り出されます。

こうして作られた統計は、地域を知るための重要な資料でもあります。京都府をはじめ、地方公共団体では統計を政策立案や政策目標、政策評価などに活用しています。つまり、総務省統計局と地方公共団体とは統計行政において相互協力関係にあります。

そして、現在の私の仕事は広大な「数字の海」、統計から政策に必要な数字を探すことです。もちろん、探すだけでなく視覚的にわかりやすく表現し、要因分析も行っています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

総務省というより統計局志望でした。

総務省統計局以外にも、統計は全府省で作成されています。特に内閣府が発表する国内総生産は注目度が高く、必ずと言っていいほどニュースになります。そんな中、あえて総務省を選んだ理由は、統計局で統計専門の公務員として働きたいと思ったからです。

実際に総務省で働きはじめてみると、実に多様な人材が集まっており、それぞれが調和し、仕事をしていると感じています。また、全く異なる行政分野の仕事をする人、特定の行政分野の道を歩んできた人など、このような多様な人の存在は、自分のライフコースを考える上でもとても参考になります。このような中で仕事ができ、総務省を選んで正解だったと私は思っています。

皆さんが総務省を志望する理由は、それぞれ違うと思います。ただ、幅広い行政分野と専門性をもつ総務省であればそれに応えてくれる、そんな組織であると思います。

将来、皆さんと総務省で会えることを、楽しみにしています。

■ PRIVATE TIME

一眼レフを片手に京都の史跡・名所を巡っています。同じ寺院でも訪れる季節によって表情が変わり、変化の様子を見ることも楽しみの一つです。一方、スキューバダイビングも趣味の一つで、一年間を通じて潜っています。きれいな海や魚を見ていると疲れも吹き飛び、とてもリフレッシュできます。



■ PROFILE

Eiichi Hayashi

平成22年4月	総務省採用
	統計局統計調査部消費統計課 審査発表係
平成25年4月	現職

とある 一週間

■ MONDAY

府内経済に係る情報交換会の資料セットをする。

■ TUESDAY

月次の経済統計を説明するために幹部の予定確認をする。

■ WEDNESDAY

午前には配布資料の最終確認、午後は情報交換会を開催する。

■ THURSDAY

情報交換会の議事概要を作成し、上司などに確認を取る。

■ FRIDAY

経済統計の動向と情報交換会の要旨を幹部に報告する。

地方自治体

関係機関

海外

留学

21 復興庁

統括官付参事官付主査(大臣政務官室担当)

河野 康紀

充実感を味わおう!



■ 仕事の内容

復興大臣政務官をお支えする仕事

現在、復興庁に赴任し、大臣政務官室で勤務しています。皆さんは政務官がどのような仕事をされているか分かりますか。政務官は、大臣、副大臣に次ぐ重要な幹部です。また、国会議員でもあり、政務官としての仕事(公務)、政治家としての仕事(政務)をされています。さらに、復興大臣政務官は現場主義の徹底という信条のもと、東日本大震災の被災地を足しげくご訪問され、視察や被災者の方々との意見交換を通じた課題把握などを行っています。このようにお忙しい政務官の公務におけるスケジュール管理や秘書官を通じた政務官からのご指示に対する対応が私の主な仕事です。

東日本大震災からの復興とは、国を挙げ、省庁の壁を超えて取り組んでいるものです。復興庁での日々の業務の中で、社会に貢献しているという充実感を味わうことができます。ここで得た知見は、総務省に戻った後の業務に、そして、今後の人生に活かしたいと考えています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

総務省の魅力教えます

総務省の魅力は、行政評価、行政相談、統計、情報通信、自治等々幅広い分野を所管している、そしてそれらは国民に身近なものであるということです。また、業務を通して社会に貢献できることを幸せに感じることができることも魅力の一つです。

私が経験したこれまでの業務で印象深いものとして、行政相談業務が挙げられます。国の業務やその手続等について、国民から苦情等を直接受け付け、その解決を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に活かすというものです。私がある相談者の方から受けた相談は、国ではなく県の業務に関する案件だったのですが、関連情報を調査し、県の担当課に相談内容を説明し対応を促したところ解決され、地元の新聞に相談者の方からの感謝のコメントが掲載されました。採用1年目を終えたばかりであった私にとって貴重な経験でした。

皆さんも総務省で仕事をする中でこのような経験を積み重ね、充実感を味わってみませんか。

■ PROFILE

Yasunori Kono

平成18年4月	総務省採用
	四国行政評価支局
平成20年4月	行政評価局行政相談課行政相談業務室 併任 行政評価局年金記録確認中央第 三者委員会事務局調査員
平成21年7月	行政評価局評価監視官付
平成24年8月	復興庁統括官付参事官付
平成25年4月	現職

■ PRIVATE TIME

仕事は忘れ、土日どちらかは外出し、どちらかは家でゆっくり過ごす、これが休日の過ごし方です。

外ではカラオケ、去年から始めたゴルフ、そして美味しいものを食べ歩きます。家では映画・TV鑑賞が中心です。今一番はまっているのがゴルフです。現在の職場の同僚と、打ちっばなしに行ったりゴルフコースを回っています。



とある 一週間

■ MONDAY

政務官は火曜まで出張。週後半の政務官へのご説明について担当班と調整します。

■ TUESDAY

出張先の政務官からのご指示に対応します。迅速かつ正確な対応が重要です。

■ WEDNESDAY

明日の国会で政務官に通告が出ました。深夜まで対応が必要に。。。

■ THURSDAY

大臣と政務官との御面会対応、政務官へのご説明等について調整を行います。

■ FRIDAY

政務官は土、日もお出張・政務です。頭が下がる思いで出張の準備をこなします。

地方自治体

関係機関

海外

留学

これからの日本と自分を創る仕事

地方自治体

関係機関

海外

留学



■ 仕事の内容

夕張市の再生を将来の日本に繋げる

夕張市の破綻当時、私は、総務省職員として破綻の原因の一つとされた不適正な財務会計処理を検証する仕事に従事していました。現在、その夕張市において、夕張の再生に向けた政策の企画・調整、まちに配置される公営住宅や公共施設などの市有施設の移転集約や都市構造の転換などまちの再編に関係する業務に携わっています。

人口規模に見合ったコンパクトなまちへの再編には大規模なヒトとモノの移動が伴います。また、その実施に当たっては、必要な財源と事業を進める人間を確保しなければなりません。いずれも財政再生団体の夕張市において高いハードルですが、これまで総務省と地方勤務で得た知識・経験を活かしてまちの再生を進めています。

人口減少、少子高齢化対策は自治体共通の課題であり、これらの対策を含めた夕張市の取組みは多くの自治体のモデルになり得るものです。夕張の再生を地方の元気の創出、日本の未来に繋げていきたいと思えます。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

制度と人を創る職場

地方自治制度を所管する総務省で働くためには、制度を運用する自治体の実情を理解することが不可欠です。また、自治体が抱える課題を共有しそれを自治体目線で捉え、自治体と共に課題解決に取り組めなければなりません。

総務省では地方勤務を通して自治体の実態を体感しながら自治体経営を学びます。その際、自治体の現場目線を養うだけでなく、総務省で得た知識・経験を活かすヨソ者の目線も持ちながら多角的な視点から課題解決の糸口を探ることが求められます。

総務省職員にとって、これらの経験は制度を「運用」する側の視点も持ち、制度を「創る」ことの強みに繋がっていると思います。また、総務省は地方自治制度に関する豊富な経験と知識、そして高い志を併せ持った同僚と共に仕事に従事し、自らの人間力を培うスキルアップの場としても魅力的な職場でもあります。

知識と経験に裏付けされた人材が「制度」と「人」を創る。それが総務省です。

■ PROFILE

Manabu Kudo

平成11年10月	自治省行政局選挙部管理課
平成13年1月	総務省自治行政局選挙部管理課
平成13年9月	石川県総務部地方課
平成15年4月	総務省消防庁消防課
平成17年4月	地方公務員災害補償基金訟務課訟務第一係長
平成19年4月	自治行政局行政課行政第三係長
平成22年4月	自治行政局行政課行政第二係長
平成23年4月	自治行政局行政課行政第一係長
平成25年4月	現職

■ PRIVATE TIME

休日は仕事を忘れ完全オフ。ドライブやランニングなど外出を心がけています。

赴任地ならではの食材や自然の魅力などを自ら発見していくことは地方勤務の楽しみの一つです。最近のマイブームは、夕張の炭鉱遺構を巡る市内散歩です。

今年は、更に足を延ばして道内一周旅行や初マラソンにも挑戦したいと思っています。



とある

一週間

■ MONDAY

週初めの定例の幹部会議に出席。重要政策について説明し幹部間で課題等を共有。

■ TUESDAY

市議会に対し、夕張市保有の石炭採掘権などの資源の活用方針を報告。

■ WEDNESDAY

資源を活用した新規事業の立ち上げや地域公共交通政策について関係者と意見交換。

■ THURSDAY

コンパクトシティの実現に向けた取組みを経済団体の視察団に説明。

■ FRIDAY

夕方から市長と共に市政の取組みを紹介する市民懇談会に出席し意見交換。

23 地方自治体

福島県いわき市財政部次長
有村 誠一郎

被災地の現場から



■ 仕事の内容

「復興と再生」に向けて

私が現在勤務する福島県いわき市は、東日本大震災の地震と大津波により大きな被害を受け、さらには福島第一原子力発電所事故による風評被害から、市民と職員が丸となって困難から立ち上がろうと、道のりは平坦ではない中でも懸命に取り組んでいる自治体です。

私は平成25年4月からいわき市の財政部の参事として、予算編成などを通じ「復興と再生」に向けた取組みに携わり、熱い思いを持った市役所の仲間たちと奮闘する日々を送っています。ここは震ヶ関では味わえない「地方の現場」というダイナミックな場所であり、一日でも早い復興に向け、スピード感を持って復興が目に見える形になるよう、迅速な対応が求められています。

地方とのつながりの強い総務省の職員にとって、地方の現場で働けることは大きなやりがいのひとつです。私にとって震災からの復興に立ち向かう、その最前線であるいわき市の一員として身を置おいて仕事をするには何物にも変えがたい経験だと思っています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

仲間とともに地方のために

総務省に入省して12年を越えましたが、国と地方それぞれの現場で、多くの経験をし、地域への熱い思いを抱く様々な人と出会いました。

私の担当する予算編成の場面においても様々な職員と、昼夜を問わず協議を重ねました。意見がすれ違うことも多々ありましたが、いわき市を再生しようという想いは皆同じであり、その想いを込めた市の予算が出来上がった時、それが充実感として返ってきたことは、決して忘れられない経験です。

そんな経験や出会った一人ひとりが私にとってのかけがえのない財産です。総務省と全国の地方公共団体には同じ思いを持ったたくさんの仲間がいます。仲間と一緒に地方のために汗をかき、その仕事をやり遂げた時、達成感や充実感を皆と一緒に味わえることが、総務省で働くことの醍醐味だと思っています。

ぜひ総務省に立ち寄って、パンフレットだけでは伝わらない熱い思いを直接聞きに来てみてください。地方のために働く職員の生の声がきっとあなたの心揺れ動かしてくれるはずです。

■ PROFILE

Seiichiro Arimura

平成13年10月	総務省採用
	自治大学校庶務課
平成14年10月	自治行政局自治政策課地域情報政策室
平成15年4月	愛知県総務部市町村課
平成17年4月	総務省消防庁総務課
平成19年10月	自治財政局財務調査課財務調査係長
平成21年7月	大臣官房秘書課秘書第四係長
平成22年1月	自治財政局財務調査課助成係長
平成23年4月	自治財政局財務調査課調査統計係長
平成25年4月	福島県いわき市財政部参事
平成26年4月	現職

■ PRIVATE TIME

週末は市域面積が東京23区の2倍以上もある広大ないわき市内を駆け巡っています。

雄大な海や山など大自然の空気を思いっきり吸って、時にはいわき湯本温泉街に立ち寄り、ゆっくりお湯に浸かりながら一週間の疲れを癒しています。充電完了！（写真は震災で被災した店舗の仮設商店街にて、同僚と）



とある 一週間

■ MONDAY

通勤は自転車。災害公営住宅の建設現場を横目に復興への槌音を感じつつ、一週間がスタート。

■ TUESDAY

来年度の予算編成に向けた部内打合わせ。市長カラーを打ち出せるよう、庁内への周知方法を検討。

■ WEDNESDAY

国から交付される復興交付金を有効に活用するため、次回申請する復興事業について、担当部と協議。

■ THURSDAY

復興本部会議に出席。復興事業の進捗状況を確認し、進捗が遅れている事業には市長から指示が出ます。

■ FRIDAY

市長から東京電力(株)へ原発力損害の賠償請求を行う日。東電に伝達する事項について市長に説明。

地方自治体

関係機関

海外

留学

24 地方自治体

岐阜県総合企画部市町村課

雨宮 直美

貴重な出会い・経験とともに

■ 仕事の内容

県という立場から見えるもの

私は現在、岐阜県庁市町村課で働いています。市町村課では税政係の一員として、市町村の地方税事務や普通交付税などに関するお仕事をしています。具体的には、市町村が行う地方税事務に関する助言、総務省が地方の状況を把握するために行う市町村に対する調査等の取りまとめ、国の施策や法律の改正に関する情報提供など、総務省をはじめとする国と市町村の架け橋として、非常に重要な役割を担っています。

県においては、国の立場からでは見えにくい世界が広がっています。市町村で行われる事務の実情や難しさ、市町村職員の思いなども肌で感じることができます。時には国が定めた制度がこうあれば、このようなアナウンスをしていただければ、と思うこともあります。

総務省においては、国にいなから地方の立場で物事を考え、主張していく必要があります。総務省へ戻った時には、岐阜県で見た世界や思いを忘れることなく生かしていきたいと思っています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

たくさんの出会いを力に変えて

総務省には、様々な地方で勤務された経験を持つ方が働いています。官庁訪問をした当時、地方での勤務経験を語る職員の方の眼差しに、心打たれたことを今でもはっきり覚えています。

入省後の2年間、私は自治税務局で勤務をしました。そこで見た先輩方の働く姿は「地方のために」という熱で溢れていました。それは紛れもなく、地方勤務で得た出会いや経験を原動力に変えたものなのだと感じました。

総務省は、たくさんの出会いに溢れた職場です。尊敬できる先輩方、総務省で勤務する各地方自治体の職員の方、出向先で出会うことができました。人との出会いだけではなく、出向先で感じた地方ならではの自然や伝統文化など多岐に渡ります。こういった貴重な出会いを経験でき、次の仕事に活かす環境があるからこそ、総務省の魅力だと感じています。

是非、一度総務省へ足を運んでみてください。きっと一つ目の貴重な出会いを経験できると思います。

■ PRIVATE TIME

休日には同僚と県内や近隣の都道府県の観光地などへ出掛けます。また、岐阜県内はゲレンデも多く、冬にはウィンタースポーツを楽しむことができ、私は生まれて初めてスノーボードに挑戦しました。同僚の丁寧な指導の下、楽しむことができました。今後も積極的に県内や近隣の都道府県など、今まで行ったことのない場所へ出掛けようと思っています。



■ PROFILE

Naomi Amemiya

平成23年4月	総務省採用 自治税務局企画課総務室
平成24年4月	自治税務局固定資産税課
平成25年4月	現職

とある 一週間

■ MONDAY

総務省から税制改正内容を反映した市(町・村)税条例(例)が届いたため、地方税法の改正案や税制改正大綱等により内容を確認後、市町村へ送付するための決裁を作成します。

■ TUESDAY

各市町村の首長と市町村課長の面談に同行。県内の市町村へ出張します。県庁内にはなかなか聞くことのできないお話を伺うことができ、非常に勉強になりました。

■ WEDNESDAY

県内市町村からの地方税法に関する質問の回答を作成。水曜日は定時退庁日なので仕事を切り上げて飲みに行きます!

■ THURSDAY

償却資産の実地調査のため、県へ固定資産税の申告をしている県内の事業者の事務所まで出張し、ヒアリングを行います。

■ FRIDAY

交付税検査結果のとりまとめのため、今年度検査を行った市町村から提出された書類のチェックや総務省へ提出する資料の作成をします。

地方自治体

関係機関

海外

留学

25 地方自治体

鹿児島県総務部市町村課

竹村 智之

Challengeの中にChangeあり



■ 仕事の内容

離れること1,000km

「国家公務員でありながら地方自治体のために働ける。」その言葉に惹かれて総務省に入った私は今、国家公務員ではなく地方公務員として、しかも東京から1,000kmも離れた鹿児島県庁で働いています。「働くなら一つの勤務地に留まらず、色々な経験をしたい。」と思って就職活動をしていた昔の私も、ここまで遠く離れた地での勤務は想像していなかったと思います。

そんな私の現在の業務は、各市町村の財政状況の分析、財源確保のための地方債に関する手続き、財政負担を減らす交付金の事務等、市町村の要である財政運営の手助けをするものです。市町村の方と一緒に悩み、市町村と国の間に入って調整をし、時には覚えたての専門用語を使って精一杯助言をしています。総務省職員として必要な「地方自治体のために」という感覚をより身近で感じている毎日は、悪戦苦闘の日々ですが、市町村の方の想いに応えられた時は何とも言えない達成感を得ています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

やらない後悔よりやって後悔！

当初私は自治体職員を目指しており、正直総務省の事は就職活動の中で知った位でした。ただ、なぜか「国家公務員でありながら地方自治体のために働ける。」という言葉に強く惹かれ、自治体志望にも関わらず総務省を訪問する事に躊躇いはありましたが、「折角興味を持ったのだから話を聞かないと後悔する。」と思い、総務省の門を叩きました。直接聞く職員の方の体験談はどれも自分が惹かれた言葉を強く感じさせるもので、帰る頃には「総務省で働いてみたい。」と考えていました。

入省時に配属された自治財政局では、震災直後ということで、通常業務、そして震災対応に職員皆が昼夜を問わず全力を注いでいました。「地方自治体のために」という想いで必死に働く先輩達に何とかついて行った一年でしたが、同時に、自分が思い描いた総務省のイメージは間違っていなかったと強く実感した年でした。

迷ったら、まずは話を聞きに来て下さい！そこから何かが変わります！

■ PRIVATE TIME

鹿児島は温泉が豊富なので、仕事終わり・休みの日には市内外の温泉によく行きます。また県内の市町村を回り、美味しい食べ物や綺麗な自然に癒やされています。鹿児島は離島も多く、行きたい場所がありすぎて困る位です。泳ぐのも好きで、県庁の人を中心にしたサークルに参加していて、夏には桜島から鹿児島磯海岸まで4.2kmを泳いだりもしました。



■ PROFILE Tomoyuki Takemura

平成23年4月 総務省採用
自治財政局財政課総務室
平成24年4月 自治財政局地方債課
平成25年4月 現職

とある一週間

■ MONDAY

起債のヒアリング。市町村が提出した書類を確認し、説明を受けます。

■ TUESDAY

国からの照会の回答準備。上司から詳しい説明を求められ慌てて市町村に確認。

■ WEDNESDAY

明後日からのヒアリングの段取りに係内で確認。赴任したてでも総括です。

■ THURSDAY

選挙事務の応援で日帰りの出張。自分は世界遺産屋久島へ投票用紙送達です。

■ FRIDAY

公営企業のヒアリング。市の担当課総出に対して自分一人での対応は緊張です。

地方自治体

関係機関

海外

留学

総務省職員はアフリカでも勤務しています



■ 仕事の内容

アフリカで初の地デジ日本方式採用国

私は現在外務省に出向し、在ボツワナ日本国大使館で勤務しています。担当分野は、経済協力全般で、特に技術協力、無償資金協力、そしてセクター別で主に情報通信も担当しています。JICA現地事務所とボツワナの開発課題について議論しながら、日本のプレゼンス向上も考慮し、ボツワナの開発支援の案件形成に携わっています。

アフリカに総務省からの出向者？と驚かれる方がいるかもしれません。世界に欧州方式、日本方式、北米方式と3つの主要なデジタル放送方式がある中、ここボツワナは、アフリカで初めて日本方式を採用した国であり、今まさに国際期限内に間に合わせるべく地デジ化の取組を加速化しているところです。2013年7月、総務省は当地の大統領府放送サービス局との覚書に署名し、両省間の協力枠組みが合意されました。今はその内容を実行すべく、定期的にカウンターパートを訪問し、時には一日張り付きながらボツワナの地デジ化支援の検討を行っています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

活躍の場が広がります

入省して7年目に入ったところで在外公館赴任の話をいただきました。しかも行き先がアフリカ！最初は戸惑いが先行しましたが、よくよく調べてみると、結構発展していることがわかり、家族を連れて赴任することを決めました。着任後、当初の想像とは大違いにアフリカが発展していることに驚きました。世界は広い。まだまだ知るべき事が多いなと実感しています。

総務省が所掌とする情報通信は、ボーダーレスで、どんなに豊かな国でも貧しい国でも必要とされている技術です。マーケットは日本の国内だけではありません。日本企業が狙えるビジネスチャンスは外にもあり、特に途上国では、その可能性がより多く残されているような気がします。そんな業界に携わる行政官として、日本企業支援、産業振興の観点から活躍できる場は全世界と言えるのではないのでしょうか。外交官として働く機会も頂ける総務省は、国際展開の熱意あふれる方に打って付けの職場だと思います。

■ PRIVATE TIME

週末は家族で買い物に出かけたり、野生動物を見て癒やされたりしています。車で30分程のところに、自家用車で入場可能な自然保護区があり、野生のキリン、サイ、シマウマ、インパラ、ダチョウ等の大型草食動物を近くで見ることができます。日本では体験できないアフリカの醍醐味を感じる瞬間です！



■ PROFILE

Shinichi Sakurai

- 平成17年10月 総務省採用
総合通信基盤局国際部国際協力課
- 平成20年 7月 情報通信国際戦略局国際協力課
- 平成21年 7月 大臣官房総務課
- 平成23年 7月 情報流通行政局放送政策課
- 平成24年 5月 現職

とある 一週間

■ MONDAY

新聞を読みながら経済分析。電力問題、水の確保、まだまだインフラ開発が不十分と実感する。

■ TUESDAY

当地外務省のカウンターパートと打ち合わせ。日本への支援要請がたくさん出てきて大変。

■ WEDNESDAY

日本からの民間企業の出張者と打ち合わせ。現地情勢についてブリーフィングを行う。

■ THURSDAY

JICA支所を訪問し、来年度案件について意見交換。効果的な支援とは何だろう…。

■ FRIDAY

市内で開かれている開発経済のワークショップに参加。参加者との議論も重要です。

地方自治体

関係機関

海外

留学

日本からメキシコそして世界へ



■ 仕事の内容

メキシコより

私は日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画の研修生として、メキシコ国立自治大学でスペイン語を勉強しています。クラスメイトにはさまざまな人種、国籍の人がおり、各国の問題点等を話しあうことで、日本の素晴らしさを再認識するとともに、日本に対する新たな着眼点を得ることができ、充実した毎日を送っています。

また、日本のほぼ裏側にあるメキシコからでも、リアルタイムに日本の情報を得たり、日本の家族・友人と連絡を取り合うことができる現状から、情報通信技術の発展が私たちの生活に大きな変化を与えていることを実感しています。

このように、情報通信技術は今後も社会の在り方を変え、さらに利便性を向上させていくと思います。そして今、舞台は世界に広がっています。日本の技術が海を越えて、これまで以上に世界に広がっていくよう、この研修で習得したスペイン語を今後の業務に活かしていければと思います。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

総務省での仕事

総務省というと、漠然と大きな仕事をしている所というイメージを持たれる方も多くいると思います。入省当時私が所属していた高度通信網振興課では、障がい者の方も積極的に働けるような環境を整えるために必要なネットワーク条件に関する実証実験をしていました。その実験に参加していた生徒の方から、「私も健常者と同じように働くことができるかもしれない。人の役に立てるかもしれない。この実験を通じて自信が持てました。」という言葉をいただいたことがありました。確かに、情報通信技術の発展というと仰々しく聞こえるかもしれませんが、一つ一つの事業は、必要としている個人のためにあるのだと思います。

これはほんの一例ですが、このような大きな可能性を持った細やかな仕事は、やりがいがあると思いませんか？みなさんの夢を叶える場所として、総務省を選んでいただければ幸いです。

■ PRIVATE TIME

日本文化を広めるため、また学生時代剣道部だったこともあり、メキシコでも大学の剣道部の練習に参加させてもらっています。メキシコでは防具等を扱っているお店がないので、防具一式買い揃えるのは至難の業ですが、多くの学生がインターネット等を活用して手に入れ、日々稽古に励んでいます。剣道は、礼儀作法を重んじる武道ですが、ここメキシコでもその精神は忘れられていません。(筆者前列中央)



■ PROFILE

Riyoka Imaizumi

- 平成21年 4月 総務省採用
総合通信基盤局電気通信事業部
高度通信網振興課
- 平成23年 4月 大臣官房会計課
- 平成25年 8月 現職

とある 一週間

■ MONDAY

午前はスペイン語と会話の授業。午後は発表会に向けてサルサの授業と自主練習。

■ TUESDAY

授業後、先生とクラスメイトとともに大学近くの遺跡探検。

■ WEDNESDAY

授業後、剣道部の練習に参加。

■ THURSDAY

午前はスペイン語、午後はメキシコの地理の授業。各州の特徴や名産品を教えてもらい、次の旅行の参考に。

■ FRIDAY

授業後、来週のテストに向けて図書館で勉強。

地方自治体

関係機関

海外

留学

Q&A

Q 最近の採用実績は？

A

平成25年度一般職試験合格者からの採用者数は本省が48人、地方支分部局が51人となっています。本省採用者は本省内の各部局や東京都内の各機関に配属されます。地方支分部局採用者は、採用された地方支分部局に配属されます。過去3年間のⅡ種試験合格者、一般職（大卒程度）試験合格者の採用者状況は以下のとおりです。

	本省採用者	地方支分部局採用者	
		管区行政評価局 行政評価事務所	総合通信局 総合通信事務所
23年度試験合格者	51 (14)	11 (4)	0 (0)
24年度試験合格者	39 (11)	8 (1)	6 (1)
25年度試験合格者	48 (12)	33 (14)	18 (4)

★人数は各年度の国家公務員Ⅱ種採用者、国家公務員一般職（大卒程度）採用者数 ★カッコ内は女性の内数
※各年度試験には10月等に採用された人も含まれます。

Q 総務省ではどのような人材を求めていますか？

A

総務省は、人事制度・行政管理・行政評価・地方自治・情報通信・郵政行政・統計・消防防災といった非常に幅広い分野の業務を行っています。したがって、採用された方には、こうした様々な分野の業務や社会経済情勢の急速な変化に、柔軟に対応が可能な人材を求めています。

Q 採用はどのように決定するのですか？

A

採用担当者とあなたとの面談を積み重ねて、あなたの長所・やる気・可能性などを総合的に判断して決定します。面談による人物本位の選考を行いますので、積極的に訪問していただき、あなたの魅力をアピールしてください。

Q 最初に配属されると、ずっとその部署で勤務するのですか？

A

配属された部署によって異なりますが、多くの方は2～3年に一度、別の部署へ異動することとなります。本人の希望・適性に応じて異動し、採用地以外の勤務地へ転動する場合があります。

Q 子育てに関し、どのような支援がありますか？

A

女性職員の産前・産後休暇の取得はもちろん、男性職員も含め、子供が3歳になるまで育児休業を取得することができます。また、働きながら育児をするための勤務時間制度も用意されています。他にも、テレワークが可能な部署もあります。

Q 採用後の研修は？

A

採用時に新任者研修を行うほか、業務に関連した研修や希望者を対象とした専門研修・昇進時の研修など様々な研修があります。

Q 採用後のキャリアアップについて教えてください。

A

一般職で採用となる職員は、入省後、内部部局の課・室において、係員・係長・課長補佐等として、本人の希望や適性に応じて、主に特定分野の業務（例えば行政管理、地方自治、放送行政、情報通信行政、統計など）を中心に担当することになります。ただし、必ずしも特定分野の業務のみではなく、キャリア形成の過程で、大臣官房やそれ以外の業務を担当したり、本省と地方支分部局を行き来する場合があります。また、都道府県や市町村の幹部職員ポスト等への派遣、他府省等や海外の在外機関への出向、国内外の大学等への留学の機会もあります（2～3ページもご覧ください）。

Q 総務省の具体的な業務内容を聞きたいのですが、どうすればいいですか？

A

総務省では、平成25年度を例にとると、総務省独自の業務説明会（6月17日～21日、7月8日、9日）、人事院主催の合同説明会（全国各地での一般職各府省合同業務説明会、霞ヶ関OPENゼミ）等を行いました。また、いくつかの大学においても業務説明会を行いました。

平成26年度も、同様に説明会を開催いたしますので、総務省ホームページ内の採用情報にて開催日程をご確認ください。

【総務省ホームページ 採用情報】

http://www.soumu.go.jp/menu_syokai/saiyou/index.html



【人事院ホームページ 国家公務員試験採用情報NAVI】

<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>



Q 福利厚生等はどうなっていますか？

A

総務省に採用されると、総務省共済組合に加入することになり、医療給付等を受けられるほか、全国各地にある共済施設が利用できます。また、住宅資金の貸付制度もあります。平成16年4月には、本省庁舎内に、食堂を含む新しい施設が増設され福利厚生が更に充実しました。



総務省の組織

総務省

(施設等機関)
自治大学校
情報通信政策研究所
統計研修所
消防大学校

(特別の機関)
中央選挙管理会
[自治紛争処理委員]
※事件ごとに総務大臣が任命
政治資金適正化委員会

(審議会等)
・退職手当・恩給審査会
・地方財政審議会
・国地方係争処理委員会
・電気通信紛争処理委員会
・電波監理審議会
・独立行政法人評価委員会
・政策評価・独立行政法人評価委員会
・情報通信審議会
・情報通信行政・郵政行政審議会
・年金業務監視委員会
・年金記録確認中央第三者委員会
・消防審議会

(地方支分部局)
管区行政評価局⑦
四国行政評価支局
沖縄行政評価事務所
年金記録確認地方第三者委員会⑨
総合通信局⑩
沖縄総合通信事務所

外局

- 大臣官房
- 人事・恩給局
- 行政管理局
- 行政評価局
- 自治行政局
- 自治財政局
- 自治税務局
- 情報通信国際戦略局
- 情報流通行政局
- 総合通信基盤局
- 統計局
- 政策統括官②
- 公害等調整委員会
- 消防庁

秘書課
総務課
会計課
企画課
政策評価広報課

総務課
人事政策課
公務員年齢対策課
恩給企画課
恩給審査課
恩給業務課
参事官⑤

企画調整課
行政情報システム企画課
管理官⑥

総務課
行政拍談課
政策評価官
評価監視官⑧

行政課
住民制度課
市町村課
地域政策課
地域自立応援課
公務員部
公務員課
福利課
選挙部
管理課
政治資金課

財政課
調整課
交付税課
地方債課
公営企業課
財務調査課

企画課
都道府県税課
市町村税課
固定資産税課

情報通信政策課
技術政策課
通信規格課
宇宙通信政策課
国際政策課
国際経済課
国際協力課
参事官③

総務課
情報流通振興課
情報通信作品振興課
情報通信利用促進課
地域通信振興課
放送政策課
放送技術課
地上放送課
衛星・地域放送課
郵政行政部
企画課
郵便課
貯金保険課
信書便事業課

総務課
電気通信事業部
事業政策課
料金サービス課
テレ夕通信課
高度通信網振興課
消費有行政課
電波部
電波政策課
電波環境課
衛星移動通信課
基幹通信課
電波政策課

総務課
統計情報システム課
統計調査部
調査企画課
国勢統計課
経済統計課
消費統計課

統計企画管理官
統計審査官③
国際統計管理官

総務課
審査官④

総務課
消防・救急課
予防課
国民保護・防災部
防災課
参事官③

★内部部局、施設等機関、地方支分部局及び外局を記載している。この他にも関係機関がある。

※平成26年3月現在

連絡先

採用予定部局

総務本省 ※消防庁を含む

採用窓口	連絡先
事務系 大臣官房 秘書課人事係	〒100-8926 千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館7階 03-5253-5111(代) 03-5253-5073・5074・5075(直)
技術系	
【情報通信分野】 総合通信基盤局 電波部電波政策課	〒100-8926 千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館10階 03-5253-5873(直)
【統計分野】 統計局 総務課人事係	〒162-8668 新宿区若松町19-1 総務省第2庁舎 03-5273-1118(直)

採用予定部局

管区行政評価局

採用窓口	連絡先
北海道管区行政評価局 総務課	〒060-0808 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第1合同庁舎 011-709-2311(代)
東北管区行政評価局 総務課	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎 022-262-7831(直)
関東管区行政評価局 総務部総務課	〒330-9717 さいたま市中央区新都心1-1 さいたま新都心合同庁舎1号館 048-600-2302(直)
中部管区行政評価局 総務課	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館 052-972-7411(直)
近畿管区行政評価局 総務部総務課	〒540-8533 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館 06-6941-3431(直)
中国四国管区行政評価局 総務課	〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎第4号館 082-228-6172(直)
四国行政評価支局 総務課	〒760-0068 高松市松島町1-17-33 高松第2地方合同庁舎 087-831-3101(直)
九州管区行政評価局 総務課	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎 092-431-7081(直)
沖縄行政評価事務所 総務課	〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎 098-866-0145(直)

採用予定部局

総合通信局

採用窓口	連絡先
北海道総合通信局 総務部総務課	〒060-8795 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第1合同庁舎 011-709-2311(代) (内線)4607
東北総合通信局 総務部総務課	〒980-8795 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎 022-221-0606(直)
関東総合通信局 総務部総務課	〒102-8795 千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎22階 03-6238-1625(直)
信越総合通信局 総務部総務課	〒380-8795 長野市旭町1108 長野第1合同庁舎 026-234-9964(直)
北陸総合通信局 総務部総務課	〒920-8795 金沢市広坂2-2-60 金沢広坂合同庁舎 076-233-4413(直)
東海総合通信局 総務部総務課	〒461-8795 名古屋市東区白壁1-15-1 名古屋合同庁舎第3号館 052-971-9106(直)
近畿総合通信局 総務部総務課	〒540-8795 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎第1号館 06-6942-8507(直)
中国総合通信局 総務部総務課	〒730-8795 広島市中区東白島町19-36 082-222-3306(直)
四国総合通信局 総務部総務課	〒790-8795 松山市宮田町8-5 089-936-5012(直)
九州総合通信局 総務部総務課	〒860-8795 熊本市西区春日2-10-1 熊本地方合同庁舎 096-326-7809(直)
沖縄総合通信事務所 総務課	〒900-8795 那覇市旭町1-9 カフーナ旭橋B-1街区5F 098-865-2300(直)



■ 所在地 ■

〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2
 中央合同庁舎第2号館
 tel 03(5253)5111(代)

■ 交通アクセス ■

東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞が関」駅下車 **A2** 出口徒歩1分
 有楽町「桜田門」駅下車 **4** 番出口徒歩3分
 銀座線「虎ノ門」駅下車 **6** 番出口徒歩約8分

■ ホームページ ■

<http://www.soumu.go.jp/>